

第 26 回日本 EV フェスティバル
(Japan EV Festival2020)
開催結果報告書

2020 年 12 月 22 日

一般社団法人 日本 EV クラブ
156-0043 東京都世田谷区松原 1-20-21-A
TEL:03-5376-8446 FAX:03-5376-5310

Japan EV Festival 2020 Report

2020.12.22

第 26 回日本 EV フェスティバル開催結果

- ☐ 日時: 2020 年 12 月 5 日(土) 10:00~16:00 (天候: 雨)
- ☐ 場所: 東京国際交流館プラザ平成(お台場) 東京都江東区青海 2-2-1
- ☐ 主催: 一般社団法人日本 EV クラブ
- ☐ 後援: 環境省、国土交通省、経済産業省、東京都
- ☐ 協賛: アウディジャパン株式会社、株式会社 e-Mobility Power、HW ELECTRO 株式会社、ジャガー・ランドローバー・ジャパン株式会社、ダイハツ工業株式会社、日産自動車株式会社、一般社団法人日本自動車連盟、ボッシュエンジニアリング株式会社、本田技研工業株式会社、三菱自動車工業株式会社、横浜ゴム株式会社
- ☐ 協力: Groupe PSA Japan 株式会社、ニチコン株式会社、ビー・エム・ダブリュー株式会社
- ☐ テーマ: 「つながろう。みんなで CO2 削減!!」
- ☐ 参加人数: 439 名(館内のみ。屋外展示見学者はカウントしていません)

☐ イベント内容

1) 気候非常事態宣言 EV シンポジウム

”ストップ気候変動”と「つながろう。みんなで CO2 削減!!」をテーマに、シンポジウムを開催しました。

○参加人数: 50 名(定員満席)

○オンライン参加人数: 30 名(述べ)

○シンポジウム趣旨:

いま、世界は地球温暖化による気候変動の渦中にあります。気候変動は世界のだれ一人としてその被害をまぬかれません。また、誰もがその責任からまぬかれるものでもありません。市民、行政、企業が力を合わせて CO2 排出量を削減し、気候変動にストップをかけ、まだ見ぬ世代に豊かな地球を残していかなければなりません。

私たちの生活を支える交通は、中国 1 国の排出量に匹敵するような 20~25%の CO2 を排出しています。交通からの CO2 排出量を段階的に減らし、やがてゼロにして持続可能な自動車と自動車社会にするために市民、行政、企業がつながるシンポジウムを開催しました。

○シンポジウム内容:

・基調講演「気候変動の現状」

講師: 東京大学大気海洋研究所 教授 木本昌秀

木本教授の基調講演では、IPCC などのデータを元に、気候変動がどのような状況にあるのか、今後、どのような対策が必要なのかについて説明がありました。

気候変動の要因と考えられている二酸化炭素は、排出量を今の状態で止めても累積の総量は増えたままになるので将来的な温暖化は避けられない。よって、カーボンニュートラルを目指して削減する必要があることを強調されていました。

Japan EV Festival 2020 Report

2020.12.22

・プレゼンテーション

①「行政のCO2 排出量削減計画」

- ・環境省 水・大気環境局自動車環境対策課 課長 小森 繁
- ・経済産業省 自動車課 自動車戦略企画室 課長補佐 西野智博

環境省小森氏からは、環境省における自動車由来温室効果ガスの排出削減にむけた取り組みについてお話をいただきました。10月26日に菅総理の2050年カーボンニュートラルをめざす宣言に触れ、環境省の役割は、ライフスタイルを含めた経済社会構造の変革、脱炭素イノベーション地域における経済と環境の好循環を進め、2050年の脱炭素社会実現を担うとのことでした。

リモート参加された経済産業省の西野氏からは、12/3経産省から発表された2030年半ばに脱ガソリン車を検討している話に触れ、経産省としてはカーボンニュートラルのために自動車の電動化は重要と認識しているものの、課題もあると考えていること、今後はバッテリーの資源確保が必要になることなどの取り組みが紹介されました。

②「自動車メーカーの電動車戦略」国内外自動車メーカー

- ・アウディジャパン(株)「Audiの電動化戦略とe-tron Sportbackの概要」(広報部部長 丸田靖生)
- ・本田技研工業(株)「Honda eについて」(Honda e 開発責任者 一瀬智史)
- ・日産自動車(株)「サステナビリティとレジリエンスの両立に向けて日産自動車の電気自動車(EV)事業の取り組み」(日本マーケティング本部 主担 河田 亮)
- ・三菱自動車工業(株)「三菱電動車が考える電動車の未来」(EV・パワートレイン技術開発本部 チーフテクノロジーエンジニア 百瀬 信夫)

各メーカーからのプレゼンテーションでは、1社10分という短い時間でしたが、気候変動、CO2削減など自動車を取り巻く環境とそれぞれの対策としてEVの位置付けや電動化の考え、各社の取り組み、最新の電動車についてお話しいただきました。

・パネルディスカッション「私たちのCO2削減作戦」

パネラー:EVオーナー(中村さつき、江守広章、渡辺俊介)

コーディネーター:鳥塚俊洋(JAFメディアワークス)

普段EVを利用しているユーザーからの視点でリアルなお話をいただきました。いまだに充電インフラが整っていない、航続距離が短いなどネガティブな意見が多いことに触れ、誤解を解くために、ぜひEVに乗ってほしいと訴えました。また、高速道路のSAなどの充電をもっと便利に使えるようにしてほしい、「インフラを考える人には、自分たちが充電するときにどう思うかを考えてもらいたいと、ユーザーならではの話を聞くことができました。

・トークショー「気候変動・自動車・音楽」松任谷正隆&舘内端

松任谷氏をゲストに迎えてのトークイベントは、終始なごやかな雰囲気でした。二人ともEVが増えてきた現状に驚いていると最近のEVを取り巻く環境の変化についての話から始まりました。

松任谷さんは、「新型コロナで、世界が手を結ぶのか、逆なのか、どちらになるのか見ていたけれど、コロナではあんまり手を結んでいないですね。でも気候変動はそうは言っていられない。世界地図って、今度こそ変わるのかなと思う」など、新型コロナで受けた音楽への影響も含めてお話をいただきました。

Japan EV Festival 2020 Report

2020.12.22

締め言葉としていただいた「今一番いろいろなことを吸収しなきゃいけない時期な気がする。とにかく今が一番何かいろいろなものの真実が見える時な気がする」という言葉が印象に残りました。

- ・「日本 EV クラブ Stop 気候変動宣言」日本 EV クラブ 館内端
最後に、日本 EV クラブ館内代表が宣言文を読み上げました。(後述)

2) 最新 EV／プラグインハイブリッド車 展示／試乗会

国内外自動車メーカーの最新 EV & プラグインハイブリッド車の展示、試乗会を行いました。展示ブースには自動車関連メーカーの出展もいただきました。あいにくの雨模様でしたが、通りすがりの人からも注目を集めていました。

試乗会は、モータージャーナリストが同乗し、e-ドライビングレッスンを実施。運転のコツや車の解説を行いました。試乗会の稼働率は85%と予約枠がほぼ埋まる盛況ぶりでした。

・参加加企業

アウディジャパン株式会社／株式会社 e-Mobility Power／HW ELECTRO 株式会社／ジャガー・ランドローバー・ジャパン株式会社／日産自動車株式会社／ボッシュエンジニアリング株式会社／本田技研工業株式会社／三菱自動車工業株式会社／横浜ゴム株式会社／Groupe PSA Japan 株式会社／ニチコン株式会社／ビー・エム・ダブリュ株式会社

・試乗車

アウディ e-tron Sportback、BMW i3、BMW X3 xDrive 30e、日産 リーフe+、ホンダ Honda e、三菱エクリプスクロスPHEV、プジョー SUV e-2008 GT Line

・試乗会参加ジャーナリスト(e-ドライビングレッスンインストラクター)

片岡英明、諸星陽一、斎藤 聡、竹岡 圭、石井昌道、まるも亜希子、橋本洋平、御堀直嗣 ※順不同

・展示(屋外)

ジャガー I-PACE、HW ELECTRO ELEMO、日産 リーフe+、ホンダ Honda e、三菱 エクリプスクロスPHEV、横浜ゴムAERO-Y、ニチコン パワームーバー(給電カフエ)

・出展メーカーブース(屋内)

e-Mobility Power、ボッシュエンジニアリング eGoKart

カタログ／パネル／資料:アウディ、ジャガー、HW ELECTRO、日産、ホンダ、三菱、横浜ゴム

自動車メーカーの最新EV／PHEVはもちろん、ボッシュエンジニアリング eGoKartや、HW ELECTROのELEMOはかなり注目されていました。

3) パネル出展ブース

自動車関連企業、自治体等の取り組みを紹介しました。

展示：東京都、長野県白馬村、神奈川県藤沢市、TGMY 等

東京都は、EV/PHEV の補助金制度の紹介、白馬村と藤沢市は、クールチョイス活動など環境活動の紹介、TGMY はジャガーMRk2 のコンバートについての展示を行いました。

4) 手作りEV展示ゾーン

日本 EV クラブ会員による手作り EV (電気自動車) の展示ゾーン。

Japan EV Festival 2020 Report

2020.12.22

市販車ベースのコンバート EV、ユニークなオリジナル EV、そして電気フォーミュラカーを展示しました。

日本 EV クラブ／電友 1 号、EV サイド・バイ・サイド、KidsERK

日本 EV クラブ・TM ワークス／EV スーパーセブン、ZEVEX／EV ジムニーSJ2001 号、OZ MOTORS/S2 Racing／e-ロードスター、千葉県自動車大学校／CATS EV シルビア、(株) ネコパブリッシング／1966 NISSAN E-CEDRIC、プロジェクション／ODYSSEY JKB ERK、栃木県立鹿沼高校サイエンス部／KPCEV-09

ロードスターをコブラ風に EV コンバートした「e ロードスター」、1966 年の日産セドリックを改造した『E-CEDRIC』、EV で南極探検を目指すグループ『ZEVEX』が製作した『EV ジムニー』などが注目をあつめていました。いずれも CHAdeMO 対応でコンバート EV の性能の高さもアピールしていました。

また、高校生が製作した KPCEV-09 に感動したとの声も聞かれました。

5) 親子 Kids ERK (電気レーシングカート) 組立体験教室 (新型コロナウイルス感染防止対策のため中止しました。)

<日本 EV クラブ Stop 気候変動宣言>

地球温暖化が進み、気候変動の脅威はますます強まっています。緊急の対処が必要です。産業革命前の水準から地球の平均気温上昇を 1.5° C に抑制できなければ、地球は元の状態に戻れないといわれています。そして、これからの 5 ～10 年が平均気温抑制の最後のチャンスといわれています。

地球温暖化=気候変動の最大の原因は CO2 排出量の増大です。そこで 2050 年までに CO2 排出量を実質ゼロにするべく世界が動き始めました。一方、石油を燃料とする自動車の CO2 排出量は、世界のおよそ 20～25%です。最大の CO2 排出国の中国の排出割合は 28%ほどですから、自動車は中国一国に迫る量の CO2 を排出していることになります。逆に自動車の CO2 排出量をゼロにすれば中国一国に匹敵する CO2 排出量をゼロにできます。

世界の自動車メーカーの多くが CO2 ゼロあるいは少ない自動車の生産・販売に向かって大きく舵を切りました。10 年後の 2030 年には販売台数の半分近くが EV を中心とする電動車になると言われます。行政も補助金を用意して普及を促進します。

しかし、電動車も売れなければ CO2 は削減できません。それにはユーザー=市民が CO2 削減に目覚め、電動車を購入しなければなりません。

自動車メーカーが電動車を生産し、市民がこれを購入し、行政が後押しするという三者の強い絆が必要です。

一般社団法人日本 EV クラブは気候が非常事態であることを認識し、EV 等の電動車の普及を通じて、次の世代とまだ見ぬ子供たちが安心して暮らせる持続可能な社会の構築へ向けて活動することをここに宣言します。

2020 年 12 月 5 日

一般社団法人日本 EV クラブ
代表理事 館内端

Japan EV Festival 2020 Report

2020.12.22

□取材・露出媒体一覧

[雑誌・WEB マガジン]

response(11 月 16 日)

日本 EV フェスティバル、今年はお台場で開催…最新 EV 展示 & 試乗会など 12 月 5 日

<https://response.jp/article/2020/11/16/340376.html>

くらくら(JAF メディアワークス/12 月 2 日)

日本 EV フェスティバル、12 月 5 日開催。最新 EV 試乗や松任谷正隆氏のトークショーも

<https://kurukura.jp/car/20201201-70.html>

YAHOO JAPAN ! ニュース(11 月 16 日)

日本 EV フェスティバル、今年はお台場で開催…最新 EV 展示 & 試乗会など 12 月 5 日

<https://news.yahoo.co.jp/articles/451265e6e3b3bef746d525cf54f54a02e76dd34c/images/000>

YAHOO JAPAN ! ニュース(12 月 3 日)

日本 EV フェスティバル、12 月 5 日開催。最新 EV 試乗や松任谷正隆氏のトークショーも

<https://news.yahoo.co.jp/articles/abd68c5851310cd9a843a67ed47bdfcdcfbac20b>

ポータルフィールドニュース(11 月 16 日)

<https://portalfield.com/news/vehicle/784643>

オリコンニュース(11 月 16 日)

<https://www.oricon.co.jp/article/1333764/>

EV smart ブログ(11 月 19 日)

第 26 回『日本 EV フェスティバル』開催～最新電気自動車などに無料試乗も

<https://blog.evsmart.net/ev-news/events/2020-japan-ev-festival/>

IN THE LIFE(12 月 6 日)

最新 EV の試乗や気候変動について考える「第 26 回 日本 EV フェスティバル」開催! テーマは「つながろう、みんなで CO2 削減!!」

<https://inthelife.club/articles/detail/80172>

クリックカー(12 月 7 日)

<https://clicccar.com/2020/12/07/1040193/>

Japan EV Festival 2020 Report

2020.12.22

au ヘッドライン(12 月 7 日)

<https://news.headlines.auone.jp/stories/series/general/13996565?genreid=202&subgenreid=222&articleid=13996565&cpid=10130029>

youtube 「E MAGAZINE チャンネル」(12 月 3 日)

「EV セドリック」12 月 5 日(土)お台場、EV フェスに展示します! ソフトをアップデートしました!

https://www.youtube.com/watch?v=RNUt_f96Ppw

NEWS Collect(12 月 16 日)

<https://newscollect.jp/article/?id=700965467592836193>

Car Watch(12 月 17 日)

最新 EV や手作り EV が集まった「日本 EV フェスティバル」

<https://car.watch.impress.co.jp/docs/column/marumo/1295680.html>

LEVOLANT CARS MEET WEB(12 月 22 日)

「つながろう。みんなで CO2 削減!!」第 26 回日本 EV フェスティバルをお台場で開催

<https://carsmeet.jp/2020/12/22/178660/>

LEVOLANT(2021 年 2 月号 12 月 24 日発売)

「つながろう。みんなで CO2 削減!!」第 26 回日本 EV フェスティバルをお台場で開催

取材メディア(掲載未)

テレビ東京(当日の夕方ニュースで報道予定でしたが、コロナ関連ニュースが入り、報道できなかったとの報告がありました)

読売新聞、ロータスタウン(掲載予定)、ホクストンなど。

以上



メーカー展示ゾーン



試乗会



パネル展示ブース



手作りEV展示ゾーン



シンポジウム





試乗会 (アウディ e-tron)



試乗会 (BMW i3)



試乗会 (BMW X3 xDrive30e)



試乗会 (日産 リーフe+)



試乗会 (ホンダ Honda e)



試乗会 (三菱 エクリプスPHEV)



試乗会 (プジョー e2008)



メーカー展示ゾーン



メーカー展示ゾーン（ジャガー）



メーカー展示ゾーン（ホンダ）



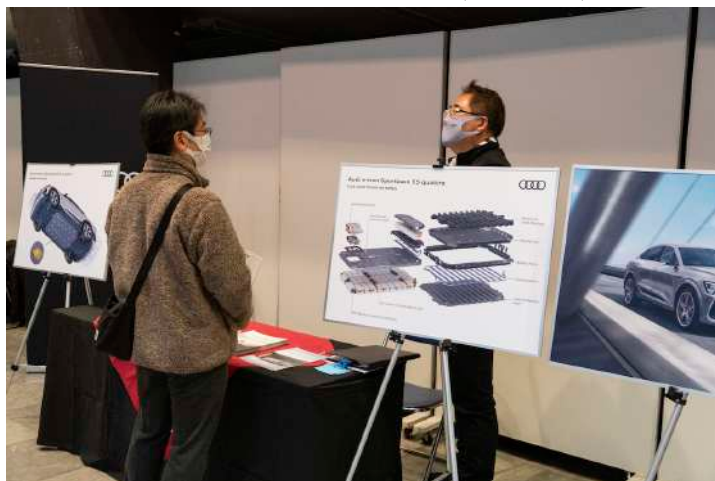
メーカー展示ゾーン（ボッシュ）



メーカー展示ゾーン（ニチコン）



メーカー展示ゾーン（HW ELECTRO）



メーカー展示ゾーン（アウディ）



シンポジウム 基調講演



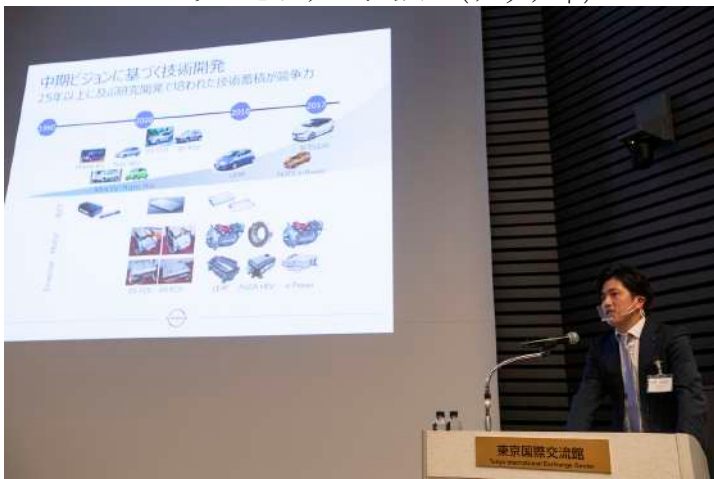
プレゼンテーション（環境省）



プレゼンテーション（アウディ）



プレゼンテーション（ホンダ）



プレゼンテーション（日産）



プレゼンテーション（三菱）



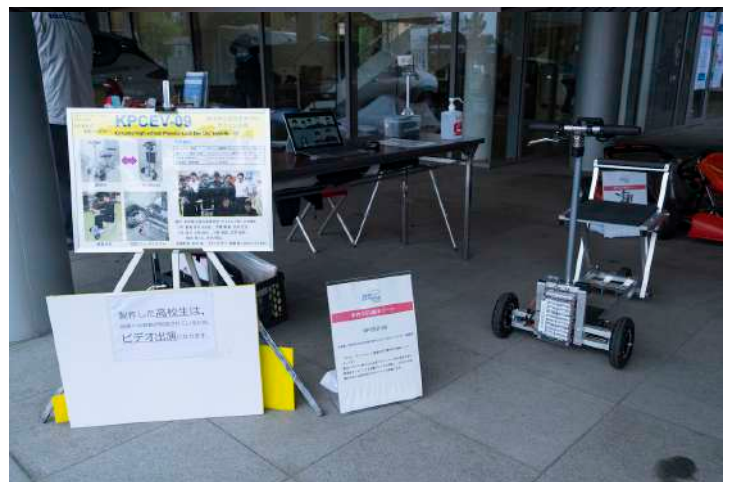
パネルディスカッション



トーク（松任谷正隆&館内端）



手作りEV展示ゾーン



手作りEV展示ゾーン



手作りEV展示ゾーン



手作りEV展示ゾーン



Register

Mypage

ホーム

自動車

試乗記

バイク

動画

モータースポーツ

鉄道

カーオーディオ

リペア・メンテナンス



寄付の返礼に
選ばれているピンズ

PINS
FACTORY®
FOR YOUR BEST MESSAGE

ホーム > エコカー > EV > 記事

2020年11月16日（月）16時00分

日本EVフェスティバル、今年はお台場で開催...最新EV展示&試乗会など 12月5日

Reducing CO₂
Japan
EV Festival
2020

Response



日本EVクラブは、電気自動車（EV）の祭典「第26回 日本EVフェスティバル」を12月5日、お台場・東京国際交流館で開催する。

地球温暖化にストップをかけ、CO2削減を訴える動きが世界で活発になり、EVへの注目が高ま

っている。日本EVクラブでは、こうした時代に先駆け、1995年から日本EVフェスティバルを開催し、地球環境問題を掲げてきた。今年は会場を筑波サーキットからお台場・東京国際交流館に移し、都市型フェスティバルとして開催する。開催目的は変わりなく、「自動車の楽しさの未来への継続」と、それを可能にする「ストップ気候変動」。そのために、日本EVクラブ会員をはじめ、一般来場客、行政、自動車メーカー、みんながつながるフェスティバルを目指す。

今年のテーマは「つながろう。みんなでCO2削減!!」。当日は会場の各所でシンポジウム、最新EV展示&試乗会、各種展示など、さまざまなプログラムを用意し、電気自動車の楽しさを伝える。

気候非常事態宣言EVシンポジウム

基調講演では、東京大学大気海洋研究所の本本昌秀教授が「気候変動の現状」をテーマに、地球環境問題について語る。このほか、「ストップ気候変動」と「つながろう。みんなでCO2削減!!」をテーマに、国内外自動車メーカーや、環境省、経産省、国交省まで、さまざまな組織を代表する登壇者が講演を行う。また、音楽プロデューサーでありモータージャーナリストでもある松任谷正隆氏と、自動車評論家で日本EVクラブ代表を務める舘内端氏によるトークショーも開催する。

定員は50名で参加は無料。事前申込先着順（申し込みフォームは後日公開）。

最新EV&プラグインハイブリッド車展示&試乗会

国内・海外自動車メーカーの最新EV&プラグインハイブリッド車が集合する。試乗会は、モータージャーナリストが同乗し、e-ドライビングレッスンを実施。運転のコツや車の解説などを直接聞くことができる。

・試乗予定車

アウディ e-tron、ジャガー I-PACE、BMW i3、BMW X3 xDrive 30e、日産 リーフe+、ホンダe、プジョー e-2008

・出展予定

ボッシュエンジニアリング、イーモビリティパワー

・試乗会参加ジャーナリスト

御堀直嗣、片岡英明、諸星陽一、斎藤 聡、竹岡 圭、石井昌道、まるも亜希子ほか

人数制限ありで参加は無料。当日受付。

親子Kids ERK（電気レーシングカート）組立体験教室

親子で電気レーシングカート（ERK）の組み立てにチャレンジする参加型プログラム。小中学校で始まったプログラミングにも挑戦し、モーターの性能調整も行う。組み立てながらEVの仕組みを解説し、EVへの理解を深めてもらう。

参加費は親子1組（大人1名＋小学生以上2名まで）2000円。大人2名の場合は3000円。定員は20組で先着順。

《額敏也@DAYS》

広告

① ×

① ×



公式／NEW日産エルグランド登場
低重心のプラットフォームが生み出す安定感のある走りで、家族のドライブをもっと伸びやかに。

NISSAN

開く >



【注目の記事】 [PR]

> [MTで走る楽しさはもうスポーツと言っていい \(FCAジャパン by レスポンス\)](#)

powered by Cynergi platform



日本EVクラブ

電気自動車 EV、PHEV、PHV

自動車

エコカー

編集部おすすめのニュース



【アウディ e-tron スポーツバック 新型試乗】アウディとEVとの親和性の高さを実感…島崎七生人
20年11月11日



【ジャガー I-PACE 新型試乗】走りを感じた揺らぐことのないブランド力…渡辺陽一郎
19年5月19日



BMW i3、新型バッテリー搭載車発売 最大航続距離466kmを実現
19年2月6日



【日産 リーフe+ 4200km試乗】ライバルは特斯拉か、ホンダか…優位性を保ち続けることはできるか [後編]
19年10月9日

【日産 リーフe+ 4200km試乗】ライバルは特斯拉か、ホンダか…優位性を保ち続けることはできるか [後編] 19年10月9日

余った野菜で1品作れる、待つだけ簡単Picklestone

Yahoo! JAPAN

ヘルプ

ウェブ検索



YAHOO! JAPAN

ニュース

IDでもっと便利に新規取得

ログイン



最大50%お得

GoToトラベルはヤフーで

キーワードを入力



ユーザーページ

購入履歴



トップ

速報

ライブ

個人

特集

みんなの意見

ランキング

有料

主要

国内

国際

経済

エンタメ

スポーツ

IT

科学

ライフ

地域

トピックス一覧

Reducing CO₂ Japan EV Festival 2020

第26回 日本EVフェスティバル (《写真提供 日本EVクラブ》)

日本EVフェスティバル、今年はお台場で開催...最新EV展示&試乗会など 12月5日

【関連記事】

【アウティ e-tronスポーツバック 新型試乗】アウティとEVとの親和性の高さを実感... 島崎七生人

【ジャガー I-PACE 新型試乗】走りで感じた揺らぐことのないブランドカ... 渡辺陽一郎
BMW i3、新型バッテリー搭載車発売 最大航続距離466kmを実現

【日産 リーフe+ 4200km試乗】ライバルはテスラか、ホンダか...優位性を保ち続けることはできるか [後編]

【ホンダe 新型試乗】“街なかベスト”に偽りなし!? こだわり感じる走りの質... 島崎七生人

11/16(月) 16:00配信

レスポンス

写真アクセスランキング



1 かわいさ倍増?
時事通信



2 <鬼滅の刃>最終23巻の「完結巻記念全面広告」が全国紙... MANTANWEB



3 田原俊彦の娘・田原可南子 ものまね初挑戦&テレビ初歌... スポニチアネックス



4 弁当に海苔で「くそ」の文字...夫婦喧嘩翌日の悲しい弁当... ABEMA TIMES



5 ドコモが新料金プラン「ahamo」発表 月額2980円で20G... ITmedia Mobile


[トップ](#) [芸能](#) [音楽](#) [ドラマ&映画](#) [アニメ&ゲーム](#) [CM](#) [スポーツ](#) [社会](#) [グルメ](#) [ビジネス](#) [趣味](#) [ビューティ](#) [ライフ](#) [おでかけ](#) [地域](#) [ランキング](#) [チケット](#)
[ホーム](#) > [趣味](#) > 日本EVフェスティバル、今年はお台場で開催...最新EV展示&試乗会など 12月5日

2020-11-16 16:06



日本EVフェスティバル、今年はお台場で開催...最新EV展示&試乗会など 12月5日

第26回 日本EVフェスティバル

日本EVクラブは、電気自動車(EV)の祭典「第26回 日本EVフェスティバル」を12月5日、お台場・...

[> 続きを読む \(外部サイト\)](#)

提供元：レスポンス

(最終更新：2020-11-16 16:21)

よく読まれている記事

重岡大毅「教場II」で物語の鍵を握る199期生徒
2020-12-03

マギー、透け感たっぷり衣装で絶妙肌見せ「胸元」
2020-12-02

新生「AAA」イベントで佐藤健、神木隆之介ら
2020-12-02

Sexy Zone・マリウス葉、体調不良で芸能活動
2020-12-02

竹内由恵、芸能界引退の山岸舞彩さんと2ショット
2020-12-02

「全く別人のよう」土屋太鳳、オレンジヘアに反
2020-12-01

ラーメンズ・小林賢太郎、芸能界引退 相方・片
2020-12-01

Dream Ami、胸元チラリショット公開「どんな
2020-12-02



金子賢(44)「ビール腹は絶対やって」一瞬で鬼
AD (株式会社BIZENTO)



ほうれい線は洗面所のアレで一瞬だよ?9割が知
AD (株式会社オージオ)

【鼻を絞ると角栓が出てくる人必見】穴という穴

美容外科医「目のプロヨはあるモノ塗って消え

THE COURT 神宮外苑	47,700万円	物件詳細
品川Vタワータワー棟	28,000万円	物件詳細
プラネスーベリア四番町	26,500万円	物件詳細

REALPLAN 首都リアルプランセンター

トレンドピックアップ

みやぞん&大橋トリオ、「いい感じ」の初デュエット公開

PR

英会話を学ぶならドコが良い?最新の英会話スクールランキング1位は...!?

クチコミや満足度で比較しよう!実際の利用者が選ぶ自動車保険とは?

よく読まれているニュース

- 1 竹内由恵、山岸舞彩さん近況伝える
- 2 マリウス葉、休養を発表
- 3 新生「AAA」岸谷「春馬が共に」
- 4 森七菜&仲野太賀の胸キュン2Shot
- 5 本田朋子、息子と2Sで「ママの顔」
- 6 中村倫也「冗談」に勝地がツッコミ
- 7 CM起用 嵐がトップ5独占の快挙

8 坂上忍、渡部謙の復帰番組を質問

EVsmartBlog

電気自動車のための充電器・
ネット検索「EV」
チームのブログです

EVsmartブログ

電気自動車や急速充電器を快適に



アンファー
ミノキシジル第2剤

日本国内最大濃度*
ミノキシジル5%配合。

* 髪が育ちやすい濃度の中で最大の濃度
商品名：スカルプD メディカルミノキシ

スカルプDの発毛力
詳しくはこちら >

[Home](#) [電気自動車ニュース](#) [イベント](#) [第26回『日本EVフェスティバル』開催～最新電気自動車などに無料試乗も](#)

イベント

第26回『日本EVフェスティバル』開催～最新電気自動車などに無料試乗も

2020年11月19日 || コメントする



26回目となる『日本EVフェスティバル2020』（主催：一般社団法人日本EVクラブ）が、12月5日（土）、お台場の東京国際交流館 プラザ 平成（江東区青海）で開催されます。最新の電気自動車などを体感できる無料試乗会などが予定されています。

※冒頭写真は2019年に筑波サーキットで開催された第25回日本EVフェスティバルにて。

初めての「都市型」フェスティバル

日本EVフェスティバルは、一般社団法人 日本EVクラブ（代表理事：舘内 端）が1995年から開催している電気自動車の祭典です。日本EVクラブではエンジン車を電気自動車に改造する取組を進めていたことから、もともとは完成した改造（コンバージョン）電気自動車を思い切り走らせる催しとして、昨年まではテストコースやサーキットで開催してきました。

でも、電気自動車を取り巻く環境は四半世紀で大きく進展してきました。より多くの方に電気自動車への正しい理解を広げ、日本EVクラブが標榜する「自動車の楽しさの未来への継続」と、それを可能にする「ストップ気候変動」の思いを共有するために、今年は初めて東京の会場で、都市型フェスティバルとして開催となります。

今回、掲げられているフェスティバルのテーマは「つながろう。みんなでCO2削減」です。気候変動に抗い、自動車を持続可能にしていくためには、地球人類すべてが「つながる」ことが大事であるという思いです。



【特設サイト】

●第26回日本EVフェスティバル

シンポジウムなどには事前登録を

【イベント概要】

日時：2020年12月5日（土） 10:00～16:00

場所：東京国際交流館 プラザ平成（お台場） 東京都江東区青海2-2-1

<アクセス>

後援：環境省、国土交通省、経済産業省（予定）、東京都

主催：一般社団法人日本EVクラブ

【プログラム】

- 気候非常事態宣言EVシンポジウム（無料 ※要事前登録）
- 最新EV&プラグインハイブリッド車展示&試乗会（無料 ※当日受付）
- パネル展示ブース（無料）
- 親子Kids ERK（電気レーシングカート）組立体験教室（有料 ※要事前申込）
- 日本EVクラブ会員による手作りEV紹介（無料）

『気候非常事態宣言EVシンポジウム』では、東京大学大気海洋研究所の木本昌秀教授が「気候変動の現状」をテーマに基調講演。環境省などの行政、国内外の自動車メーカーによるプレゼンテーションのほか、EVオーナーによるパネルディスカッションが行われます。また、「気候変動・自動車・音楽」をテーマに、カーオブザイヤー選考委員でもある松任谷正隆氏と舘内氏のトークショーを実施。『日本EVクラブStop気候変動宣言』を行う予定となっています。

新型コロナ感染対策のため、入場者の定員は50名限定。日本EVクラブ公式サイトフォームから、事前の登録が必要（11月20日締切）です。

【関連ページ】

●シンポジウム事前登録フォーム

『親子Kids ERK（電気レーシングカート）組立体験教室』は、今までにも何度も各所で開催して好評を得ているプログラム。親子で一緒に、子供用電気レーシングカートの組立体験に挑戦します。EV（電気自動車）の基礎と構造を学びながら、パソコンを使ったモーター性能の調整など、デジタル技術にも触れることができます。参加者には、自分たちで作った配線ケーブルがプレゼントされます。

参加費は親子1組（大人1名+子供（小学生以上）2名まで）で2000円。こちらも事前の申込が必要です。

【関連ページ】

●親子電気レーシングカート組立体験教室（12/5開催）参加者募集中

『最新EV&プラグインハイブリッド車展示&試乗』には、国内・海外自動車メーカーの最新電動車が集結、無料で試乗を楽しめます。試乗の際はモータージャーナリストが同乗し、e-ドライビングレッスンを実施。運転のコツや車の解説などを直接聞くことができます。人数制限がありますが、免許証を保有していればどなたでも試乗できます。

試乗できる車種は以下の予定。

- アウディ e-tron
 - BMW i3
 - BMW X3 xDrive 30e
 - 日産 リーフe+
 - ホンダ Honda e
 - プジョー e-2008
 - 三菱 エクリプスクロスPHEV
- (順不同)

また、ジャガーアイペース (I-PACE) が展示されるほか、会場にはボッシュエンジニアリング、横浜ゴム AERO-Y、e-Mobility Powerなど各社が出展予定となっています。

さらに、日本EVクラブ会員が製作した手作りEV展示（無料）なども行われます。

特設サイトでも紹介されている、舘内さんからのメッセージです。

「多くの方々にお集まりいただき、力を結集し、自動車の魅力を再確認し、気候変動にストップをかけたいと思います。ご参加をお待ちしています」

(文／寄本 好則)



第26回『日本EVフェスティバル』開

「ジャパンEVラリー白馬2019」参加

EVsmartは「ジャパンEVラリー白馬

第1回『Japan EV Meetup』

催～最新電気自動
車などに無料試乗
も
2020年11月19日

者募集中！
2019年8月3日

2015」2015年7月
18,19日に出席しま
す！来場者には特
典が！？
2015年7月8日

11/15（日）富士山
麓で開催！
2020年10月15日

この記事の著者

寄本 好則

兵庫県但馬地方出身。旅雑誌などを経て『週刊SPA!』や『日経エンタテインメント!』の連載などライターとして活動しつつ編集プロダクションを主宰。近年はウェブメディアを中心に電気自動車と環境&社会課題を中心とした取材と情報発信を展開している。剣道四段。著書に『電気自動車に幸せになる』『EV時代の夜明け』（Kindle）『旬紀行ー「とびきり」を味わうためだけの旅』（扶桑社）などがある。日本EVクラブのメンバーとして、2013年にはEVスーパーセブンで日本一周急速充電の旅を達成した。

執筆した記事

[自分に悲報！ 中古](#)

[自工会の豊田章男](#)

[テスラの自動運転](#)

[東京都小池知事の](#)



カテゴリ



(https://kurukura.jp/)



検索



クルマ

(https://kurukura.jp/car/)



次世代技術

(https://kurukura.jp/next-mobility/)



旧車

(https://kurukura.jp/nostalgic-cars/)



鉄道他

(https://kurukura.jp/train/)

ホーム (https://kurukura.jp/) / クルマ (https://kurukura.jp/car/)

2020年12月02日 00:00 掲載

クルマ (https://kurukura.jp/car/)

日本EVフェスティバル、12月5日開催。最新EV試乗や松任谷正隆氏のトークショーも

第26回日本EVフェスティバルが、2020年12月5日（土）に開催される。主催の日本EVクラブは、設立以来、気候変動の問題を掲げ、同時に「自動車の楽しさの未来への継続」も可能にする「EVの普及」活動を行ってきた。今回のフェスティバルでも、最新EVの展示や試乗会、シンポジウムなど、EVを知るためのさまざまなプログラムを用意。SDGsや地球環境問題、そしてEVへの注目が高まっていることもあり、今回はより身近なイベントとなるよう初めての東京都内での開催にしたという。

タグ: EV



くるくら編集部 会田 香菜子



シェア (https://www.facebook.com/sharer/sharer.php?u=https://kurukura.jp/car/20201201-70.html)



ツイート (https://twitter.com/share?url=https://kurukura.jp/car/20201201-70.html&text=日本EVフェスティバル、12月5日開催。最新EV試乗や松任谷正隆氏のトークショーも)



LINE (http://line.me/R/msg/text/?日本EVフェスティバル、12月5日開催。最新EV試乗や松任谷正隆氏のトークショーも%0D%0Ahttps://kurukura.jp/car/20201201-70.html)

EVの楽しさと地球環境問題に触れる

The logo for the Japan EV Festival 2020. It features the text "Reducing CO2" in green at the top. Below it, "Japan" is in blue, followed by a blue stylized plug icon with a lightning bolt. Then "EV Festival" is in blue, and "2020" is in green at the bottom.

出典：一般社団法人日本EVクラブ

地球温暖化にストップをかけるために、CO2削減を訴える動きが世界で活発になっている。モビリティ分野においても電動化が進められている中、電気自動車への注目はますます高まっている。一般社団法人日本EVクラブ（以下、日本EVクラブ）では、こうした時代に先駆け、1995年から環境問題を掲げた日本EVフェスティバルを開催してきた。今年は、筑波サーキットからお台場の東京国際交流館に場所を移し、開催以来初めての都市型フェスティバルとして開催される。今年のテーマは「つながろう。みんなでCO2削減」。

当日は、気候変動をテーマにしたシンポジウム、最新EV展示&試乗会、EVや環境に関する各種展示など、さまざまなプログラムが用意されている。詳細は以下の通りだ。

【第26回日本EVフェスティバル 概要】

開催日：2020年12月5日（土）

開催時間：10時～16時

会場：東京国際交流プラザ平成（お台場）

（東京都江東区青海2-2-1）

*シンポジウムはオンライン配信を予定。また新型コロナの感染状況などにより開催が変更になる場合もある。オンライン配信の案内、最新情報等は、日本EVクラブのホームページにて。



白馬村で開催されたセミナー風景 出典：一般社団法人日本EVクラブ

当日のプログラムは3つの柱で構成される。まず、1つめは「ストップ気候変動」とCO2削減をテーマにした「気候非常事態宣言EVシンポジウム」。基調講演では、東京大学大気海洋研究所の木本昌秀教授が、「気候変動の現状」をテーマに講演する。このほか、自動車メーカー、官庁などさまざまな組織を代表する登壇者が講演を行う。音楽プロデューサーでありモータージャーナリストでもある松任谷正隆氏と日本EVクラブ代表 館内端氏によるトークショーも開催。シンポジウムは事前申込先着順のため、現在既に受付終了となっているが、同クラブではオンラインでのライブ配信を予定している（オンライン配信の案内は、同クラブのホームページを参照）。また、後日アーカイブのWeb配信も予定。配信については、誰でも自由に閲覧可能とのことだ。



過去のEV試乗会の様子 出典：一般社団法人日本EVクラブ

2つめの柱は、「最新EV&プラグインハイブリット車の展示と試乗会」。「アウディ e-tron」「BMW i3」「BMW X3 xDrive 30e」「日産 リーフe+」「ホンダ Honda e」「フジヨー e-2008」「三菱 エクリプスクロスPHEV」など、国内外の最新EV&プラグインハイブリット車の試乗が可能。モータージャーナリストが同乗するeドライブングレッスンでは、運転のコ

ツやクルマの解説を直接聞くことができる。試乗会は当日受付のみで参加費は無料。午前と午後の2回に分けて実施される。
(人数制限あり)



過去のカート組み立て教室の様子 出典：一般社団法人日本EVクラブ

そして3つめの柱となる出展ブースでは、自治体の取り組みや自動車メーカー、日本EVクラブ会員によるコンバートEVの紹介などが行われる。実車展示とパネル展示があり、どちらも自由に見学が可能だ。また「親子Kids ERK」として電気レーシングカートの組み立て体験教室も予定されていたが、体験教室は新型コロナウイルス感染防止のため今回は中止となった。

新型コロナウイルス感染防止対策を厳重に行ったなかでの開催となるが、身近でEVを感じ、理解を深められるプログラムが目白押しであり、最近話題のEVが気になっている方は要チェックのイベントだろう。

この記事の写真を見る

(<https://kurukura.jp/car/photo/20201201-70.html>)

ライターお勧めの関連記事はこちら

- 新型ペダル付き電動バイク「GFR-02」、より力強く登坂力も向上 (<https://kurukura.jp/car-life/201127-70.html>)
- "空飛ぶクルマ"は2030年に実現できるか!? (<https://kurukura.jp/next-mobility/20201120-60.html>)
- 世界初の自動運転レベル3車両が実現へ。ホンダ「レジェンド」が型式指定を取得 (<https://kurukura.jp/next-mobility/20201111-01.html>)
- 走りながら海面のマイクロプラスチックを除去。スズキが回収船外機を世界初開発 (<https://kurukura.jp/car-life/201029-70.html>)
- ジムニーを急速充電可能なEVに改造。世界初のEV南極点到達を目指す (<https://kurukura.jp/car/200731-70.html>)

コロナ給付金寄付プロジェクト「あなたの思いをあしたの支援に」

Yahoo! JAPAN

ヘルプ

ウェブ検索



YAHOO! JAPAN

ニュース

IDでもっと便利に新規取得

ログイン

ペイペイがもらえるふるさと納税で人気の魚介

キーワードを入力



ユーザーページ

購入履歴



トップ

速報

ライブ

個人

特集

みんなの意見

ランキング

有料

主要

国内

国際

経済

エンタメ

スポーツ

IT

科学

ライフ

地域

トピックス一覧

日本EVフェスティバル、12月5日開催。最新EV試乗や松任谷正隆氏のトークショーも

12/3(木) 13:01 配信 0



出典：一般社団法人日本EVクラブ

第26回日本EVフェスティバルが、2020年12月5日（土）に開催される。主催の日本EVクラブは、設立以来、気候変動の問題を掲げ、同時に「自動車の楽しさの未来への継続」も可能にする「EVの普及」活動を行ってきた。今回のフェスティバルでも、最新EVの展示や試乗会、シンポジウムなど、EVを知るためのさまざまなプログラムを用意。SDGsや地球環境問題、そしてEVへの注目が高まっていることもあり、今回はより身近なイベントとなるよう初めての東京都内での開催にしたという。

【写真】この記事に関する写真はこちら！

EVの楽しさと地球環境問題に触れる

地球温暖化にストップをかけるために、CO2削減を訴える動きが世界で活発になっている。モビリティ分野においても電動化が進められている中、電気自動車への注目はますます高まっている。一般社団法人日本EVクラブ（以下、日本EVクラブ）では、こうした時代に先駆け、1995年から環境問題を掲げた日本EVフェスティバルを開催してきた。今年は、筑波サーキットからお台場の東京国際交流館に場所を移し、開催以来初めての都市型フェスティバルとして開催される。今年のテーマは「つながろう。みんなでCO2削減」。

当日は、気候変動をテーマにしたシンポジウム、最新EV展示&試乗会、EVや環境に関する各種展示など、さまざまなプログラムが用意されている。詳細は以下の通りだ。

【第26回日本EVフェスティバル 概要】

開催日：2020年12月5日（土）

開催時間：10時～16時

会場：東京国際交流プラザ平成（お台場）
（東京都江東区青海2-2-1）

アクセスランキング（ライブ）

- 1 伊藤かずえさんの19歳娘、ついに「シーマン」の運転席へ 生まれたときから乗っていた母の愛車
まいどなニュース 12/22(火) 7:00
 - 2 「おたく、弁償してくれるの？」朝5時から「アイドリング騒音」撒き散らす隣人、まさかの逆ギレ 弁護士ドットコム 12/22(火) 10:04
 - 3 旅行先で出会った野良の子猫に影響されて目覚めた「猫愛」 帰宅後、2匹の保護猫を飼うことに
まいどなニュース 12/22(火) 14:20
 - 4 ヘンリー王子とメーガン妃「王室引退」後の総収入は400億円超!? わずか9か月で「大富豪」に
Hint-Pot 12/22(火) 12:55
 - 5 可愛いタイプのスケキヨ？ドーム型のベッドから両脚を放り出して眠る猫ちゃんが話題に
まいどなニュース 12/22(火) 15:00
- PR 現地で感じるカツオのパワー！高知の「食」
高知県

Yahoo! JAPAN 広告

Yahoo!ニュースからのお知らせ

不妊治療はなぜ高額？「保険使いたい」切実な声の背景

Yahoo!ニュースからのお知らせ

新型コロナ「第3波」どう備える？
職場でのクラスターを防ぐため、消毒や換気、予防のための体制づくりなどのポイントをご紹介

紹介します。

※シンポジウムはオンライン配信を予定。また新型コロナの感染状況などにより開催が変更になる場合もある。オンライン配信の案内、最新情報等は、日本EVクラブのホームページにて。

当日のプログラムは3つの柱で構成される。まず、1つめは“ストップ気候変動”とCO2削減をテーマにした「気候非常事態宣言EVシンポジウム」。基調講演では、東京大学大気海洋研究所の木本昌秀教授が、「気候変動の現状」をテーマに講演する。このほか、自動車メーカー、官庁などさまざまな組織を代表する登壇者が講演を行う。音楽プロデューサーでありモータージャーナリストでもある松任谷正隆氏と日本EVクラブ代表 館内端氏によるトークショーも開催。シンポジウムは事前申込先着順のため、現在既に受付終了となっているが、同クラブではオンラインでのライブ配信を予定している（オンライン配信の案内は、同クラブのホームページを参照）。また、後日アーカイブのWeb配信も予定。配信については、誰でも自由に閲覧可能とのことだ。

2つめの柱は、「最新EV&プラグインハイブリット車の展示と試乗会」。「オーディエ-tron」「BMW i3」「BMW X3 xDrive 30e」「日産 リーフe+」「ホンダ Honda e」「プジョー e-2008」「三菱 エクリプスクロスPHEV」など、国内外の最新EV&プラグインハイブリット車の試乗が可能。モータージャーナリストが同乗するeドライブングレッスンでは、運転のコツやクルマの解説を直接聞くことができる。試乗会は当日受付のみで参加費は無料。午前と午後の2回に分けて実施される。（人数制限あり）

そして3つめの柱となる出展ブースでは、自治体の取り組みや自動車メーカー、日本EVクラブ会員によるコンバートEVの紹介などが行われる。実車展示とパネル展示があり、どちらも自由に見学が可能だ。また「親子Kids ERK」として電気レーシングカートレーシングカートの組み立て体験教室も予定されていたが、体験教室は新型コロナ感染防止のため今回は中止となった。

新型コロナ感染防止対策を厳重に行ったなかでの開催となるが、身近でEVを感じ、理解を深められるプログラムが目白押しであり、最近話題のEVが気になっている方は要チェックのイベントだろう。

文・会田 香菜子

【関連記事】

新型バダル付き電動バイク「GFR-02」、より力強く登坂力も向上

“空飛ぶクルマ”は2030年に実現できるか!?

世界初の自動運転レベル3車両が実現へ。ホンダ「レジェンド」が型式指定を取得
走りながら海面のマイクロプラスチックを除去。スズキが回収船外機を世界初開発
ジムニーを急速充電可能なEVに改造。世界初のEV南極点到達を目指す

最終更新: 12/3(木) 13:01

[くるくら](#)

雑誌アクセスランキング (ライブ)

- 1 **【漫画】** 何度聞いても聞き取れない電話の取り次ぎに新入社員が驚きの対応をして…!? **【SNSでも話題】**

with online 12/22(火) 12:12



- 2 年間1000食以上! カップ麺マニアが教える「セブンイレブンPBカップ麺」ベスト5

現代ビジネス 12/22(火) 11:02



- 3 もし、27歳で専業主婦になったら…共働き夫婦との「生涯年収の差」はどれくらい?

with online 12/22(火) 12:42



- 4 「柴距離」を発動する柴犬がじっと見つめてくる! 独特の距離感がたまらない

いぬのきもち WEB MAGAZINE 12/22(火) 13:05



- 5 3度の味変で完食を目指す! 「ベヤング 超超超大盛りそば GIGAMAX 君なら食べれる」に挑戦してみた

食楽web 12/22(火) 10:01



- PR 金欠。そんな時におすすめ。キャッシング比較ナビ



Yahoo! JAPAN広告

動画アクセスランキング (ライブ)

- 1 この年賀状には改善点が5か所も…『コロナ禍の年賀状』 プロに聞いた気をつけたい言葉や写真の使い方

東海テレビ 12/21(月) 20:11



- 2 コロナで客減るもリモートに商機…老舗料亭が本気を出した『リモート忘年会弁当』その中身がスゴかった

東海テレビ 12/21(月) 19:41



- 3 コロナ禍で日本の爪切りがインドで売れていた…貝印が刃物の町から世界へ発信 刀鍛冶以来続く刃物づくりの精神

東海テレビ 12/21(月) 11:25



Instagram

検索

ログイン

登録



kei_takeoka • フォローする

...



kei_takeoka 本日はEVフェスティバル2020でした😊 残念ながら雨でしたが、皆さまお楽しみいただけてると、いいなあ〜と思いつつ、私は試乗を担当させていただきましたよー👏
最近是个性的なデザインや、特徴のある運動性能を持つEVがふえてきて、楽しくなってきましたね◆ 来年はもっと車種が増えそうで楽しみ💖
お越しいただいた皆さま、ありがとうございましたー😊



いいね! 1624件

4日前

ログインすると「いいね!」やコメントができます。

kei_takeokaの他の投稿



Instagramにログイン

ログインして、友達の写真や動画を見たりフォローするアカウントを見つけたりしよう。

⚠️ このブラウザーはサポートされなくなりました。詳しくはこちら



最高のMacメンテナンスツール

レインボーカーソルはもう嫌! Macを新品同様にメンテナンスしよう。

CleanMyMac X

[開く >](#)

MOBILITY 2020.12.06

最新EVの試乗や気候変動について考える「第26回 日本EVフェスティバル」開催! テーマは「つながろう、みんなでCO2削減!!」

E MAG



陰山 健一

LINE



「第26回 日本EVフェスティバル」最新EV試乗プログラムでのホンダ Honda eと日産リーフ e +

[全ての画像を見る](#)

2020年12月5日、東京国際交流館 プラザ平成にて「第26回 日本EVフェスティバル」が



RELATED



日産のEV「アリア」はコーナー入り口でFR、出口でFFのように走行可能! 2021年中旬発売、世界一 ...

2020.11.22



プジョーの電気自動車「e-2008」で450kmの日帰り旅行! デザインも運転支援もグッドでコンパクト ...

2020.11.20



「チンクエチェント」の電気自動車「FIAT 500e」に試乗! 非日常を味わえる新しいクルマ ...

2020.11.18



電気自動車124台「JAPAN EV MEETUP(ジャパン EV ミートアップ)」

開催された。



MIRAI ヒョウ
ジュン
価格(税込)
¥2,330,000

クラウン アス
リートG
価格(税込)
¥1,696,000

スーブラ RZ
価格(税込)
¥6,950,000

詳細

詳細

詳細



主催する日本EVクラブは、1995年の第1回から第25回までを、EVで走る楽しさを啓蒙するため、テストコースやサーキットで開催されていたが、今回は初めての都会型イベントとなった。

その理由としては「もっと多くの人に自動車の置かれている状況と求められる変化を伝える必要がある」と考え、人々が集まりやすく、開催に伴う環境負荷が少なく、情報伝達

効果の高い都市ということで、東京が選ばれたとのこと。

今回のテーマは「つながろう、みんなでCO2削減!!」。気候変動をストップするには地球人類すべてが「つながる」ことが必要で、市民同士、行政同士、企業同士、そしてそれら同士がつながり力を合わせなければ地球規模の大変動を止めることはできないと、そのプログラムは3本の柱で構成された。

【写真30枚】「第26回 日本EVフェスティバル」当日の様子

気候変動をEVでどう解決していくか!?



1つ目は気候変動に関する基調講演、行政の取り組みの発表、自動車メーカー各社の電動車戦略、市民によるパネルディスカッション、松任谷正隆氏のトークショー等で構成する「気候非常事態宣言 EV シンポジウム」と「日本 EV クラブ Stop 気候変動宣言」。

数日前に、こちらの参加者はすでに定員オーバーとなり、当日は雨ではあったが満席。気候変動、EVというテーマについての講演トータル4時間近く行われたが、メーカーによる様々な今後の施策やEVオーナーに本音が聞けるシンポジウムとなっていた。



ブ) 開催! 「WE ...

2020.11.15



「グリル、デカッ!」BMWの電動SUV「iX」いよいよ2021年末に市場投入! キドニーグリルは自動 ...

2020.11.13



まずはネットで簡単
オンライン見



RANKING



1 「ハコスカGT-R」当時150万円、今は2000万円!? ホ ...

2020.12.02



2 「ケンメリGT-R」「ハコスカGT-R」の超絶ディテールを楽 ...

2020.12.03



3 懐かしの「シティーハンター」冴羽狼の愛車「ミニ」と100tハ ...

2020.11.30



4 「相棒」の杉下右京「フィガロ」を再現! 1/2 4ダイキャスト ...

2020.12.03



5 【圧巻!】フェラーリ3台にGT-R、ランボが並ぶ秘密のガレージ ...

2020.12.05

印象的だったのは、環境省と経産省の自動車環境、自動車戦略を担当する方々の講演。どちらも菅総理大臣が10月26日に、2050年までにカーボンニュートラルにすると発表したことをうけ、EV普及へ具体的に動きだす検討段階に入っていることが垣間みられた。

また、音楽プロデューサーである松任谷正隆氏と日本EVクラブ代表理事である館内端氏のトークショーも、終始ほっこりする雰囲気、昨今のコロナ問題と環境問題を対比させながら、とても楽しめるものとなった。

コンバートEVもそりい踏み!



2つめは「最新EV&プラグインハイブリッド車の展示と試乗会」で、アウディ e-tron スポーツバック、プジョーe-2008、ホンダeなどの最新EVに自動車ジャーナリストのドライビングレッスンを受けながら試乗することができる内容で、こちらも人気のプログラムとなっていた。

3本目は自動車メーカーやコンバートEVなどの出展ブース。日本EVクラブのレーシングカーや、EVにコンバートしたジムニー、スーパーセブン、ロードスターのほか、弊誌EマガジンからはE-セドリックを展示。電動モビリティの新しい楽しみ方や蓄電池の利用についての展示など、こちらも来客者の注目を集めていた。

シンポジウムの最後は、自動車の魅力を再確認し、気候変動にストップをかけるため、日本EVクラブによる、Stop気候変動宣言を代表理事の館内端氏が読み上げて終了となった。

昨年と比べ、自動車メーカーのEVラインナップが一気に増え、今後も注目が集まるEV。気候変動対策と電気自動車について理解を深められる素晴らしいイベントであった。

以下、日本EVクラブのStop気候変動宣言を紹介させていただきたい。



TREND

超巨大な「サンダーバード」風ガレージ!? 仕事のトレーラーと...
2020.11.24

「2000GT」「NSX」の実物大模型を高校で製作! 熱血クルマ好き...
2020.12.05

名車ズラリ! 英国にならった旧車イベント「サイドウェイトロフィ...
2020.12.01

青春「タバコよりこっち吸うわ」喫煙者も大満足な新型タバコが1...
AD (Dr.Slick_sp14)

「やっと採用できた新入社員4名が全員辞めて目が覚めた」
AD (クラウド活用ならビズレント)

Recommended by 〰 papln

日本EVクラブ Stop 気候変動宣言

地球温暖化が進み、気候変動の脅威はますます強まっています。緊急の対処が必要です。

産業革命前の水準から地球の平均気温上昇を 1.5℃ に抑制できなければ、地球は元の状態に戻れないといわれています。そして、これからの5~10 年が平均気温抑制の最後のチャンスといわれています。

地球温暖化=気候変動の最大の原因は CO2 排出量の増大です。

そこで2050年までにCO2排出量を実質ゼロにするべく世界が動き始めました。一方、石油を燃料とする自動車のCO2 排出量は、世界のおよそ20~25%です。

最大の CO2排出国の中国の排出割合は28%ほどですから、自動車は中国一国に迫る量のCO2を排出していることになります。

逆に自動車の CO2 排出量をゼロにすれば中国一国に匹敵するCO2排出量をゼロにできます。

世界の自動車メーカーの多くがCO2 ゼロあるいは少ない自動車の生産・販売に向かって大きく舵を切りました。

10年後の2030年には販売台数の半分近くがEVを中心とする電動車になると言われます。行政も補助金を用意して普及を促進します。

しかし、電動車も売れなければCO2は削減できません。それにはユーザー=市民がCO2削減に目覚め、電動車を購入しなければなりません。

自動車メーカーが電動車を生産し、市民がこれを購入し、行政が後押しするという三者の強い絆が必要です。

一般社団法人日本EVクラブは気候が非常事態であることを認識し、EV 等の電動車の普及を通じて、次の世代とまだ見ぬ子供たちが安心して暮らせる持続可能な社会の構築へ向けて活動することをここに宣言します。

2020年12月5日一般社団法人日本EVクラブ

代表理事 館内端

TAG

EV



HOME

News・新車

Tech&Biz

カーライフ

イベント

エンタメ

カスタム

アイテム

用語辞典

バイク

**成長が期待されるインドへの投資**

投資信託で、成長が期待されるインドに投資－東京海上・インド・オーナーズ株式オープン



Home > ニュース・新車

**速報！ エクリプスクロスPHEVのナンバー付きモデル公道試乗一番乗り
スクロスPHEV試乗】**

公開日 2020/12/07 07:45

最終更新日 2020/12/07 13:46

執筆者 [諸星陽一](#)



[すべての
画像を見る](#)

■発表日翌日にナンバー付きモデルに試乗！



日本EVフェスティバルの会場に現れ

2020年12月5日、東京・台場の東京国際交流館を舞台に日本E「第26回 日本EVフェスティバル」が開催されました。EVに関するコンテンツが用意されるこのイベントのなかに「最新EV&プラグインハイブリッド車展示&試乗会」が開催されました。

筆者はこの「最新EV&プラグインハイブリッド車展示&試乗会」トラクターとして参加したのですが、試乗車のなかに三菱が前！

たナンバー付きのアウトランダーPH
EV
発表したばかり
のエクリプスク
ロスPHEVも用意されていたので、合間をみてわ
ずかな時間ですが試乗の機会を得ることができ
ました。

三菱の広報担当者によれば、前日にナンバーを
取得しこの試乗会に間に合わせたとのことで、
ホカホカの新車でした。イベント中の試乗のため、時間の都合であまり写真は
あまり撮影できなかったことはお許し下さい。



フロントシートはしっかりしたサイ
ズで、ホールド性も高い



ダッシュまわり
アエンジンモ
ない。センタ
たハンディレシ
のもの



エンジンは2.4リットルで128馬力、
モーターはフロントが82馬力、リヤ
が95馬力

前回の試乗は富士スピードウェイのショートコースでウェット路
回の試乗は台場地区の一般道ですが、同じくウェット路面です。
ウェイでの試乗ではタイヤのグリップが低く感じましたが、一
く気になりません。エコ系タイヤであるブリヂストンのエコピ
、台場地区での路面ではタイヤのノイズも低く、乗り心地も快

発進時の力強いトルク感はもちろんですが、なによりも静粛性
す。ハイブリッドではとくにEV走行時にタイヤノイズが目立ち、
動するとエンジン音が気になるものですが、その両方ともに上
いる印象です。エンジンが始動した際のつながり感や存在感もあまり感じず、上手にシームレス
、アウトランダーPHEVを長きにわたって熟成してきたノウハウが生きているのでしょう。

ハンドリングを語れるほどの道のりではありません
せんですが、コーナリング時の安定感の高いも
のでした。ロールの発生も素直で、クルマの動
きがわかりやすいタイプのものです。当然、富
士スピードウェイで試したようなアクティブな
走りはできませんが、一般道で普通速度域で
の走りは快適と言えます。



ナンバー付きモデル一番乗りを果た
した筆者



外観も大きく
気に入って居
トの抑揚のある

12月末には、御殿場の一般道でももう少し長めの
試乗ができる予定ですので、詳しいインプレッションはもう一度そこでお届けします。今回は
ダーPHEV譲りの走りは快適でスポーティなものであったことを報告しておきます。

(文・写真／諸星陽一)

auヘッドライン

速報！ エクリプスクロスPHEVのナンバー付きモデル公道試乗一番乗り【エクリプスクロスPHEV試乗】

バラエティ Cliccar

12/7 13:37

■発表日翌日にナンバー付きモデルに試乗！

2020年12月5日、東京・台場の東京国際交流館を舞台に日本EVクラブ主催の「第26回 日本EVフェスティバル」が開催されました。EVに関するさまざまなコンテンツが用意されるこのイベントのなかに「最新EV&プラグインハイブリッド車展示&試乗会」が開催されました。

筆者はこの「最新EV&プラグインハイブリッド車展示&試乗会」の同乗インストラクターとして参加したのですが、試乗車のなかに三菱が前日の12月4日に発表したばかりのエクリプスクロスPHEVも用意されていたので、合間をみてわずかな時間ですが試乗の機会を得ることができました。

三菱の広報担当者によれば、前日にナンバーを取得しこの試乗会に間に合わせたとのことで、ホカホカの新車でした。イベント中の試乗のため、時間の都合であまり写真はあまり撮影できなかったことはお許し下さい。

前回の試乗は富士スピードウェイのショートコースでウェット路面でした。今回の試乗は台場地区の一般道ですが、同じくウェット路面です。富士スピードウェイでの試乗ではタイヤのグリップが低く感じましたが、一般道ではまったく気になりません。エコ系タイヤであるブリヂストンのエコピアを履きますが、台場地区での路面ではタイヤのノイズも低く、乗り心地も快適でした。

発進時の力強いトルク感はもちろんですが、なによりも静粛性の高さが快適です。ハイブリッドではとくにEV走行時にタイヤノイズが目立ち、エンジンが始動するとエンジン音が気になるものですが、その両方ともに上手に抑えられている印象です。エンジンが始動した際のつながり感や存在感もあまり感じず、上手にシームレス化しているのは、アウトランダーPHEVを長きにわたって熟成してきたノウハウが生きているのでしょう。

ハンドリングを語れるほどの道のりではありませんでしたが、コーナリング時の安定感の高いものでした。ロールの発生も素直で、クルマの動きがわかりやすいタイプのものです。当然、富士スピードウェイで試したようなアクティブな走りはできませんが、一般道で普通速度域での走りは快適と言えます。

12月末には、御殿場の一般道でもう少し長めの試乗ができる予定ですので、詳しいインプレッションはもう一度そこでお届けします。今回はまず、アウトランダーPHEV譲りの走りは快適でスポーティなものであったことを報告しておきます。

(文・写真／諸星陽一)



あわせて読む



新型エクリプスクロス登場。アウトランダーPHEVと比べてみると... 【週刊クルマのミ...
12/6 11:03 Cliccar



PHEVを新たに加えた三菱自動車の新型エクリプス クロスが登場。価格は384万8...
12/5 11:03 Cliccar



VW新型「ゴルフ」はいつ日本上陸？ 現行型からどう進化したのか
12/5 17:10 くるまのニュース



根元はベタつくのに毛先はパサつく髪悩みに！ピュアンで一日中かるうるヘア
〔PR〕 Kao on MERY

Recommended by  LOGLY

関連リンク

新型エクリプスクロス登場。アウトランダーPHEVと比べてみると... 【週刊クルマのミライ】



EVsmartBI

電気自動車のための充電器・
ネット検索の「EV」
チームのブログです

EVsmartブログ

電気自動車や急速充電器を快適に

[Home](#) [📺 電気自動車ニュース](#) [📺 イベント](#) [📺 第26回『日本EVフェスティバル』開催～電気自動車普及を
目指し「Stop 気候変動宣言」](#)

イベント

第26回『日本EVフェスティバル』開催～ 電気自動車普及を目指し「Stop 気候変動 宣言」

2020年12月15日 || 4件のコメント



今年で26回目になる電気自動車の祭典『日本EVフェスティバル』が、東京国際交流館（東京都江東区）で開催されました。今年のテーマは「つながろう。みんなでCO2削減!!」。メーカー製EVの試乗会やシンポジウムなど、電動車普及と脱炭素社会実現の目標に向けて意義あるイベントになりました。

EVフェスティバルとして初めての都市型イベントとして東京開催



2020年12月5日、第26回『日本EVフェスティバル』（主催：一般社団法人 日本EVクラブ／代表：舘内端氏）が開催されました。日本EVクラブは、電気自動車（EV）の普及と、それによる地球温暖化防止を目指す市民団体です。設立は1994年10月。これまでに、マツダ・ロードスターや三菱・ランサーなどのエンジンを降ろしてバッテリーとモーターを積むコンバートEVの製作教室を開催したり、ダイハツ・ミゼットIIをコンバートしたEVで24時間レースを開催するなど、ユニークな活動を続けてきています。

さらには、メルセデスベンツのAクラスをEVにコンバートしてコンセントを借りながら日本一周をした『2001年充電の旅』や、スーパーセブンをEVにして日本一周

をした『EVスーパーセブン 急速充電の旅（2013年）』など、日本のEV黎明期に、できるだけたくさんの方にEVを見て、乗ってもらうチャレンジも行っています。



そんなイベントの中でも、日本EVフェスティバルは毎年欠かさず続けてきた、ちょっと特別なお祭りでした。

【関連記事】

●第25回 日本EVフェスティバル開催～合い言葉は「CO2ゼロ & アクセル全開！」
(2019年11月7日)

フェスティバルのスタートから四半世紀が過ぎました。今までは谷田部のテストコースや筑波サーキットなどを舞台として、会員が製作したコンバートEVや電気レーシングカートのレースを中心としてイベントとして開催されてきましたが、市販のEVが本格的に増え始めた2020年は、「都市型日本EVフェスティバル」と題して、初めて東京での開催となりました。場所はお台場、東京国際交流館です。

7台のEV、PHEVに一気に乗りも

都市型日本EVフェスティバルのテーマは、「つながろう。みんなでCO2削減！！」です。といっても「ガマン」だけでは温室効果ガス削減へのアクションは続かないので、「自動車の楽しさの未来への継続」も併せてフェスティバルの目標にしていました。

都市型フェスティバルでは、市販EVやプラグインハイブリッド車（PHEV）の試乗会、コンバートEVを紹介する展示コーナー、EV関連の事業を展開している企業の展示ブースの他、午後にはシンポジウムも開催しました。とにかく山盛りです。



当日はあいにくの雨。しかも気温が上がらず肌寒い中でしたが、午前10時の試乗会受付と同時に来場者が申し込みを行い、人気のクルマはあっという間に試乗枠が埋まっていました。

今回、会場に用意された試乗車は、アウディ『e-tron Sportback』、日産自動車『リーフe+』、BMW『i3 レンジ・エクステンダー』と『X3 iDRIVE 30e』、ホン

ダ『Honda e』、三菱自動車『エクリプスクロスPHEV』、そしてグループPSAの『プジョー e-2008 GT Line』の7台でした。

試乗コースは5分ほどの短い距離ですが、これだけの数のEVを一度に、自分でステアリングを握って公道で試せる機会はそうそうありません。寒い雨降ってるわという悪条件の中でしたが、たくさんの人が試乗を楽しんでいました。

このほか展示ゾーンには、ジャガー・ランドローバー『I-PACE（アイペース）』や、HW ELECTROの小型EVトラック『ELEMO』、横浜ゴムの特別仕様車『AERO-Y』や、手作りEVが並びました。

個性的な手作りEVは、日本EVクラブ製作の『EVスーパーセブン』をはじめ、『e-ロードスター』や、1966年の日産セドリックを改造した『E-CEDRIC』、EVで南極探検を目指すグループ『ZEVEX』が製作した『EVジムニー』など、どれもCHAdemo（チャデモ）での急速充電が可能になっていました。





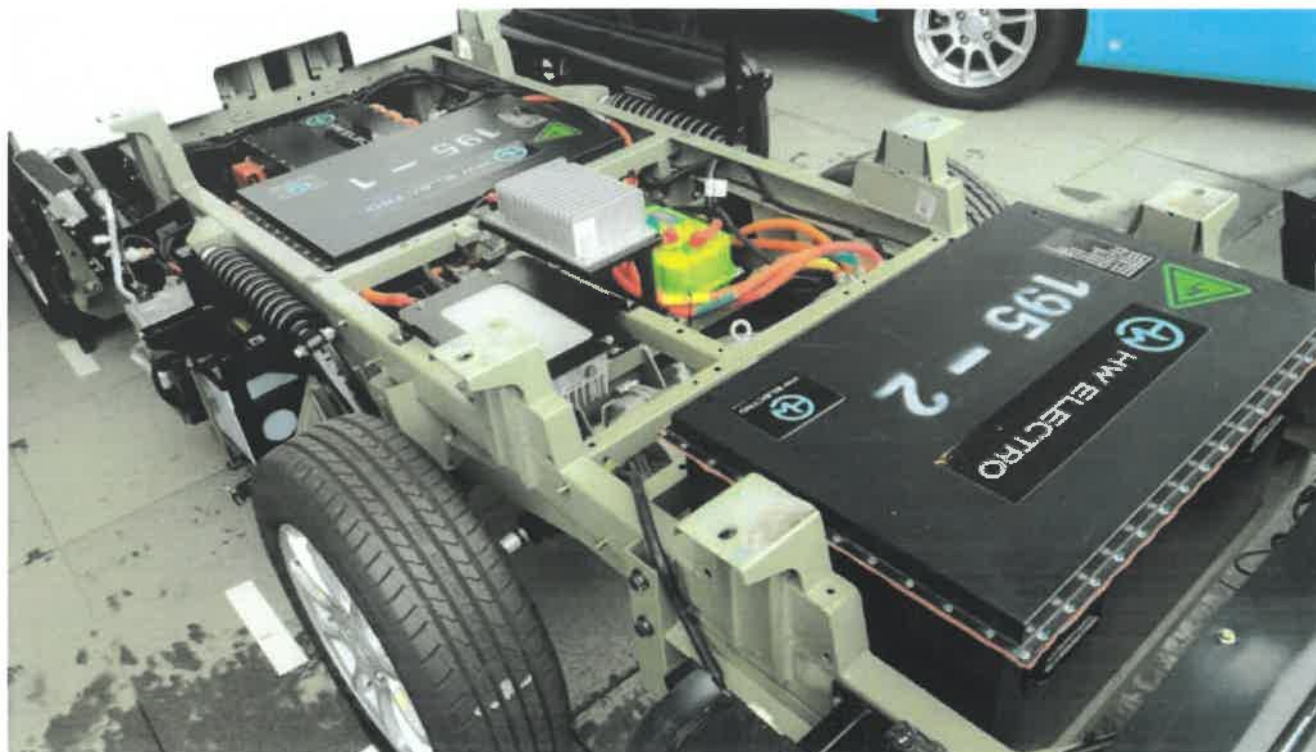
急速充電可能なコンバートEVは楽しさと実用を兼ね備えていて、日本では冷遇されがちな旧車再生の可能性を広げています。そんな車をひとつひとつ見ていると、それだけで時間が過ぎてしまいます。

ところで、EV関連イベントでは常連の感がある、ニチコンのV2Hの展示では、定

番になったリーフの電気でコーヒーを無料提供するサービスを実施していました。気温が6度くらいから上がらない中、暖かいコーヒーは大好評でした。

先だって、朝霧高原のEVイベントでも出展していたHW ELECTROの『ELEMO』は、ボディを分解して電池やプラットフォームの構造を公開していました。この小型商用EVは、今まさに車検を通す（型式認定は取得しない）ための手続きが進んでいるところです。





【関連記事】

- 小型商用電気自動車『ELEM0』を発売するベンチャー企業『HW ELECTRO』の心意気とは（2020年11月29日）

シンポジウムは満員御礼



さて、午後は『気候非常事態宣言EVシンポジウム』がメインイベントです。コロナ禍の中での開催のため、参加者数は会場の収容人数の半分、約50人に抑えたこともあり、リアルでの参加予約はすぐに埋まったそうです。そのため急遽、オンラインでの配信も実施されました。今後、アーカイブ配信も予定しているそうです。気になる方は、日本EVクラブのYouTubeチャンネルに登録しておきましょう。

●日本EVクラブ YouTube公式チャンネル

シンポジウムは、「国連気候変動に関する政府間パネル」（IPCC）の報告書の執筆者でもあった東京大学大気海洋研究所の木本雅秀教授による基調講演「気候変動の原状～極端気象と地球温暖化～」に続いて、環境省、経済産業省、自動車メーカーの各担当者による自社の取り組み紹介などのプレゼンテーションが行われました。

まず木本教授の基調講演では、さまざまな公的データやIPCCで検討されたデータを元に、気候変動がどのような状況にあるのか、今後、どのような対策が必要なのかについて説明がありました。

木本教授は、日本では2018年に起きた豪雨災害での保険金支払額が1兆数千億円にのぼり、これは東日本大震災での保険金支払い額を上回っていると言います。

異常気象は、過去にも30年に1回程度は起きてきたのですが、温暖化によってその頻度が増えると同時に、異常気象を超える『極端気象』が増えるそうです。また木本教授は、猛暑だった2018年でも、“東日本の夏”の平均気温は平年より2度高かっただけなので、21世紀末に“世界の年間平均気温”が4度上がるということは、場所や季節によっては10度以上気温が上がってもおかしくないと言います。

そして、気候変動の要因と考えられている二酸化炭素は、排出量を今の状態で止めても累積の総量は増えたままになるので将来的な温暖化は避けられない、だからカーボンニュートラルを目指して削減する必要があること、パリ協定でも「世界の（温室効果ガス）排出ピークをできるだけ早期に迎え（中略）急激に削減する」となっていることを強調しました。

講演後の質疑応答では、今でも日本では温暖化がデタラメという話が出てくるのはなぜなのかという質問に対して、木本教授は、「話がかみ合わないので困るんです」と言い、そうした温暖化懐疑論に関して次のように話しました。

「国民の皆さんがそっちを信じちゃうと困るんです。政府も困るんです。これは人類全体の問題なので。ぜひとも正確なところを納得していただいて、そのうえで対策に協力していただくのが大事です」

その方法のひとつとして、IPCCのレポートにはたくさんのFAQ（よくある質問）があるのでぜひ参考にしてほしいと話しました。

日産と地方自治体の災害時の連携協定が100以上に拡大

続いて環境省水・大気環境局自動車対策課の小森繁課長から、環境省は現在、脱炭素社会、循環経済、分散型社会の「3つの移行」で経済社会を再構成し、必要な施策を整理しており、今後も取り組みを続けていきたいという現状説明がありました。

さらに、経済産業省自動車課自動車戦略企画室の西野知博課長補佐は、経産省としてはカーボンニュートラルのために自動車の電動化は重要と認識しているものの、課題もあると考えていること、今後はバッテリーの資源確保が必要になること、次世代バッテリーの研究開発予算に50億円を要求していることなどの取り組みが紹介されました。

ところで経産省は、2020年夏にバッテリーの残存性能を見える化するためのガイドラインを発表。これをもとにバッテリーのリユース、リサイクルを拡充していくそうです。バッテリーの性能判断が難しいこともあり、EVの中古車市場での価格は低めのままで推移していて、この部分での対策を実施していくことも当面の目標になるそうです。具体的な開始時期は示していませんが、この対策は早く進めてほしいですね。



日産自動車のプレゼンテーション。

これら行政の取り組みに続いて、自動車メーカー担当者のプレゼンがありました。発表したのはアウディジャパン、本田技研工業、日産自動車、三菱自動車工業の4社で、EVに対する会社の取り組み姿勢、今後のポイントなどが紹介されました。日産は、非常時にリーフから給電して災害時の支援をする連携協定を締結した自治体が、全国で100を超えたそうです。

EVや充電インフラの今後についても提言

シンポジウムでは、3人のEVユーザーによるパネルディスカッションや、日本EVクラブの館内代表と、松任谷正隆さんのトークショーも盛り上がりました。とくに日常生活でEVを使っている人たちのEV観は、とても興味深いものでした。

登壇したのは、これまでに3台のリーフを乗り継いできている中村さつきさん、リーフやテスラに乗ってきたけど農業をしているので本当は「4WDの軽トラEVが欲しい」と言う江守広章さん、ミニキャブ MiEVを7年間乗り続けている白馬村の渡辺俊介さんの3人です。



左から、モデレーターの鳥塚さん（JAFメディアワークス）、渡辺さん、江守さん、中村さん。

みなさん、日常の足にEVを使っていることもあって、テレビのニュースなどで相変わらず、EVの航続距離が短いとか、充電場所がないなどとEVのネガティブな面を強調していることについて、こうした見方が根強いのはみんながEVに「乗っていないからだと思う」（中村さん）と一刀両断。ですよ～、と筆者もヒザを打ちました。

中村さんは最初のリーフを買ったときに、半径50kmくらいをカバーできるので安心と聞いていたけども、「うそつきと思った」そうです。確かに初代リーフだと安心とは言えなさそうです。

それでも買ったのは、遠出は月に一度くらいで、ふだんは50kmも乗らないからだったそうですが、買ってみると「楽しくて、充電しながら埼玉から仙台まで行くようになりました」。現在の愛車はリーフe+で、急速充電は月に1回もしてないそうです。

また江守さんは、自宅が持ち家なので充電は家でしているため、マンションや賃貸

住まいの人に勧めていいかどうかは迷うと言いつつ、「大容量になってきているので、充電に困ることはないんじゃないか」とも思っているそうです。

充電インフラについては、白馬村で山荘を営む渡辺さんが「白馬村にある公共の急速充電器は20kWの出力しかないが、これからは宿やスキー場など目的地での普通充電がますます重要になると思う」と、自ら宿泊施設を営むEVユーザーならではの見方を提示。ただし多額の設備投資は難しいので「複雑な認証のものは導入できない。なるべく安価で宿とお客の双方で費用負担できる仕組みがあるといい」と提案しました。

このほか中村さんは、高速道路の急速充電器が使いにくい場所にあることが多いので「インフラを考える人には、自分たちが充電するときにどう思うかを考えてもらえればいい」と強調しました。

たとえば、足柄SA上り線にスマートインターから入った場合、SA内の急速充電器を使おうとするとSA内を逆走しなければいけません。つまり、スマートインターから入ると急速充電器が使えない構造になっています。せっかくの充電インフラ、スムーズかつ便利に使えるようにますます工夫して欲しいという点は、EVsmartブログとしても共感できます。

霞が関の人たちや自動車メーカーの関係者もシンポジウムを見ていたと思います。SA/PAを含む全国のほとんどの急速充電施設は1カ所に1台しか充電器がない現状など、課題山積の日本の充電インフラをこれからどう変えていくのか、期待して見守りたいと思います。

日本EVクラブの「Stop 気候変動宣言」を決定



パネルディスカッションに続いて行われた館内代表と松任谷さんのトークショーでは、「館内代表がなぜEVに興味を持ったのか」から、「松任谷さん自身がEVの急拡大に驚いている」という話しまで、マスメディアではなかなか聞けない話で盛り上がりました。

テレビで自動車の番組を続けている松任谷さんは、10年以上前に番組でテスラのロードスターを借りるかどうかという話が出たことがあったときに、充電ができないから返せないという結論になって「電気自動車ってまだまだなんだって思った」そうです。だからこの10年の変化には非常に驚いているそうです。

すると館内代表も、自身でEVの普及を活動をしているものの「こうなったのは、自分が一番驚いてる」と吐露しました。ただし、「地球の問題を考えると、エンジン車のままで行くと何かがぶっ壊れるとも思っていて、人類がもし聡明ならEVしかないとは思っていた」と話していました。



また松任谷さんは、現在のコロナ禍と温暖化について、次のように話していました。

「新型コロナの問題が起きたときに、世界が手を結ぶのか、逆なのか、どちらなのかと思ったんですが、コロナではあんまり手を結んでないですね。でも気候変動はそうは言われてられない。世界地図って、今後こそ変わるのかなと」

世界地図が変わるのは、見てみたいですね。まあその前に、自動車産業の世界地図が今から数年で大きく変わりそうですが。

シンポジウムは最後に、日本EVクラブによる「Stop 気候変動宣言」を採択して終了しました。内容は最後に紹介します。

とにもかかわらず、私自身スタッフとして参加して、最新のEVの試乗会から展示会、楽しいトークショーまで山盛りの内容にへロへロになった1日でしたが、初開催から26回目で内容を一新した日本EVフェスティバルは見どころ満載でした。

さて、来年はどうなるのか。またまた中身が一新されるかもしれませんが、盛りだ

くさんになりそうな期待感もあります。情報が入り次第、改めてお知らせしますので、どんどんご参加ください！

【関連サイト】

『日本EVクラブ公式サイト』

『日本EVフェスティバル特設サイト』

『日本EVクラブ Stop 気候変動宣言』



宣言を読み上げる代表理事の館内端さん。

地球温暖化が進み、気候変動の脅威はますます強まっています。緊急の対処が必要です。

産業革命前の水準から地球の平均気温上昇を 1.5℃ に抑制できなければ、地球は元の状態に戻れないといわれています。そして、これからの5～10年が平均気温抑制の最後のチャンスといわれています。

地球温暖化=気候変動の最大の原因はCO2排出量の増大です。

そこで2050年までにCO2排出量を実質ゼロにするべく世界が動き始めました。一方、石油を燃料とする自動車のCO2排出量は、世界のおよそ20~25%です。

最大のCO2排出国の中国の排出割合は28%ほどですから、自動車は中国一国に迫る量のCO2を排出していることになります。

逆に自動車のCO2排出量をゼロにすれば中国一国に匹敵するCO2排出量をゼロにできます。

世界の自動車メーカーの多くがCO2ゼロあるいは少ない自動車の生産・販売に向かって大きく舵を切りました。

10年後の2030年には販売台数の半分近くがEVを中心とする電動車になると言われます。行政も補助金を用意して普及を促進します。

しかし、電動車も売れなければCO2は削減できません。それにはユーザー＝市民がCO2削減に目覚め、電動車を購入しなければなりません。

自動車メーカーが電動車を生産し、市民がこれを購入し、行政が後押しするという三者の強い絆が必要です。

一般社団法人日本EVクラブは気候が非常事態であることを認識し、EV等の電動車の普及を通じて、次の世代とまだ見ぬ子供たちが安心して暮らせる持続可能な社会の構築へ向けて活動することをここに宣言します。

2020年12月5日 一般社団法人 日本EVクラブ

(取材・文／木野 龍逸 撮影／樋口涼)





MAZDA CX-30 上質なインテリア

マツダ株式会社

世界中で様々な賞を受賞。クラフトマンシップが生み出す、こだわり抜いた上質なイ...

まるも亜希子の「寄り道日和」

最新EVや手作りEVが集まった「日本EVフェスティバル」

まるも亜希子 2020年12月17日 00:00

ツイート リスト

Pocket 131

いいね! 16

シェア



思わず釘付けになってしまったコチラのスポーツカーも、EVです。ベースとなっているのは初代ロードスター。アメリカンスタイルのフロントマスクになっています。製作したOZ MOTORSによれば、バッテリーは日産リーフの20kWhバッテリーパックを搭載。チャージモの急速充電器に対応していて、最高出力は180kWとのこと。こりゃ速そうですね！

1994年から続く歴史の中で、2020年の「日本EVフェスティバル」は、初めての都市型イベントとして東京・お台場で開催されました。日本EVクラブ代表の館内さんが「今年は東京でやろうか」と思い立ったのは、2020年の年明け早々だったとのことですが、その後世の中はコロナ禍で一変。人々の自由な移動が制限され、これまで通りにサーキットで開催する予定だったら、中止にせざるを得なかったかもしれません。

さらに12月5日に無事にイベントが終了した、わずか3日後。小池都知事が「東京都内で販売される新車を2030年までに『脱ガソリン車』とする」方針を打ち出したではないですか。もしかして館内さん、知ってたんですか？ と勘ぐりたくなるタイミングのよさなんです（笑）、きっと長年積み重ねてきたEVのプロとしてのカンが、この流れをだいたい先読みしていたのだらうと思います。

だれでも実質0円 お試しキャンペーン

Rakuten WiFi Pocket

iPhone
などお使いの
スマホに接続!



モバイルWiFi本体が
プラン購入+アンケート
に答えて

データ使い放題が
(2,980円/月) ※3
1歳目なら

実質
0円
でも使える!

0円
(1年間)

※1 プランセット購入で本体価格1円。アンケート回答後後日1ポイント還元。ポイント付与時期は翌々月末日。※2 本体代金割引キャンペーンの適用はおひとり様1回までとなります。※3 Rakuten UN-LIMIT V1年無料はお一人様1回限りのみ。※4 楽天回線エリア外は5GB/月を超えると最大1Mbpsで使い放題。最大1Mbpsで利用時、動画再生・アプリダウンロード等では、遅延がかかる場合があります。通信速度はベストエフォート（回線上の最大速度）であり、実効速度は通信環境・状況により変動します。※5 2回線目としてお申し込みの場合、プラン料金は初月から2,980円/月（税別）

Rakuten Mobile





第26回日本EVフェスティバルは、初めての都市型イベントとして、お台場の東京国際交流館 プラザ平成で開催されました。自動車メーカーの最新EV&PHVはもちろん、市販車をベースにEVにコンバートした手作りEVまで、バラエティ豊かな展示車が通行人の注目を集めていました。手前に見える白いジムニーも、もちろんEV！ 険しい山道もスイスイ登っていく冒険ジムニー、楽しそうですね

イベントは、都市型ということではサーキット時代のように派手な演出こそなかったものの、内容としてはとても有意義なものばかり。自動車メーカーが販売している最新のEVとPHVが展示&試乗会を行ない、これには私もインストラクターとして参加させていただきました。試乗はすべて無料というのがいいですね。

そして、なかなか街中では見ることのできないバラエティ豊かなEVも勢ぞろい。ヒルクライムでEVクラス優勝を果たした、横浜ゴム製作のEVスポーツ「AERO-Y」や、これから普及が見込まれる軽トラサイズのおしゃれなEV「ELEMO」、日本EVクラブとその会員が製作した手作りEVもズラリ並んで、見ごたえたっぷりです。

中でも、市販車をEVにコンバートしたモデルで、OZ MOTORSがユーノス・ロードスターをEVにした「e-ロードスター」や、1966年のニッサン・セドリックをEVにした「1966 NISSAN E-CEDRIC」なども目立っていて、思わず私も食いついてしまいました（笑）。



2021年7月に発売予定となっている、ポスト軽トラとして活躍してくれそうなEV、「ELEMO」。全長が3910mmあるので、軽自動車ではなく登録車扱いとなるそうですが、基本ボディは「フラットベッド」「アルミ平ボディ」「ボックスタイプ」の3タイプがあります。バッテリー容量と一充電航続距離は、13kWhが120km、25.9kWhが200kmの2種類。価格は199万円からとなっています

小池都知事の言う『脱ガソリン車』の中には、ハイブリッド車が含まれるそうなので、すぐにEVだらけの時代になるわけではないのですが、クラシックカーなど古



あなたらしい空間で。
Restaurant BoConcept
ミシュランレストランの極上ディナープレゼント

☆ Special Site

スタバ驚藤、ソニーのLEDシーリングライトに興味津々!!
物欲も全開に?



ゴミ吸引と水拭き、除菌もできるエコボックス
「DEEB AIVI」がスゴい!



QRコードで動画を参考に作れる! 使い勝手がいい「子育てにちょうどいいミシン」



パソコンやタブレットなどお得な中古品情報をまるっとお届け!!



在宅ワーク関連、オンライン学習、おうちエンタメ等をここに集約!!

👑 アクセスランキング

1時間 24時間 1週間 1か月

- STI、「NEW BRZ GT300 始動」公式SNSでメッセージ投稿
- 自工会 豊田章男会長、カーボンニュートラルと電動化を語る「自動車産業はギリギリのところ立たされている」
- ホンダ、低重心で扱いやすい大型クルーザー「レブル 1100」
- BMW、マットカラーを採用した「X5 M」「X6 M」限定モデル「First Edition」
- マツダ、2代目/3代目「RX-7」のサービスパーツを復刻して再供給

🔍 もっと見る

Rakuten Mobile

だれでも実質

0円

お試しキャンペーン

iPhoneなどお使いのスマホに接続!

※プランセット購入で本体価格1円。※アンケート回答で後日1ポイント還元。ポイント付与時期は各々来月、※2回線回線として申込の場合。プラン料金は毎月2980円/月(税別)

いガソリン車の肩身が狭くなるのは目に見えていますよね。そうしたら、自分の好きなボディのクルマをEVにして乗りつづける、というのも1つの選択肢になるかもしれません。実際、初代ロードスターを愛してやまない夫は、本気で「将来はウチのもこうするしかないかな」なんて熱心に話を聞いていたくらいですから（笑）。



大盛況となった、松任谷正隆さんと館内端さんのトークショー。テーマは「気候変動・自動車・音楽」って、そのままですが（笑）。難しいことを子供にも分かるやさしい言葉で話してくれる館内さんと、豊かな感性とフレンドリーな人柄で話してくださる松任谷さんなので、これをきっかけに気候変動について興味を持ってくれる人が増えたらいいなと思いました（写真・樋口涼）

また今回、事前申し込みの段階から満員御礼状態になったのが、「気候非常事態宣言 EVシンポジウム」。東京大学大気海洋研究所の木本昌秀教授をはじめ、環境省や経産省、自動車メーカーが気候変動やEVをテーマに講演を行なったあと、音楽プロデューサーでありモータージャーナリストである松任谷正隆さんと館内さんのトークショーも！ そりゃ、どんなお話が飛び出すのか、聞いてみたいですね。

残念ながら私は、インストラクターとして稼働中だったので聞けなかったんですが、もしかすると後日、日本EVクラブの公式サイトにレポートがアップされるかもしれないので、ぜひチェックしてみてくださいね。

館内さんは、気候変動をストップするには、地球人類すべてが「つながる」ことが必要だと語っていました。考えてみれば音楽も、人と人をつなげてくれるもの。思いを届けてくれるもの。クルマと音楽は、私たちに眠る力を引き出してくれる最強タッグかもしれないなと思った1日でした。

まるも亜希子



まるも亜希子／カーライフ・ジャーナリスト。映画声優、自動車雑誌編集者を経て、2003年に独立。雑誌、ラジオ、TV、トークショーなどメディア出演のほか、エコ&安全運転インストラクターなども務める。海外モーターショー、ドライブ取材も多数。2004年、2005年にはサハラ砂漠ラリーに参戦、完走。日本自動車ジャーナリスト協会（AJAJ）会員。2006年より日本カー・オブ・ザ・イヤー選考委員。ジャーナリストで結成したレーシングチーム「TOKYO NEXT SPEED」代表として、耐久レースにも参戦。また、女性視点でクルマを楽しみ、クルマ社会を元気にする「クルマ業界女子部」を吉田由美さんと共同主宰。現在YouTube「クルマ業界女子部チャンネル」でさまざまなカーライフ情報を発信中。過去に乗り継いだ愛車はVWビートル、フィアット・124スパイダー、三菱自動車ギャランVR4、フォード・マスタング、ポルシェ・968、ホンダ・CR-Z（現在も所有）など。

Impress Watchシリーズ 人気記事

1時間 24時間 1週間 1か月

- 1 ドコモ、月額1650円で通話5分定額とデータ1GBの「はじめてスマホプラン」
- 2 「Nintendo Switch 2台目用セット」、マイニンテンドーストアで販売再開！
- 3 ドコモから「5Gギガホ プレミア」と「ギガホ プレミア」、5G使い放題で6650円
- 4 「鬼滅の刃」トートバッグが本日発売！ 兼獣さんデザインなど全13種
- 5 SIE、PS4「サイバーパンク2077」のPSNでの販売を停止
米国では返金対応も開始

もっと見る

Vostro 3501を
特価にて販売中！

intel
Dell Technologies 第8世代 インテル® Core™ i5
Solutions with intel プロセッサ搭載

特価提供の
特設サイトをチェック！

ニューモデル
NEW MODEL

ニュース&トピックス
NEWS & TOPICS

動画
MOVIE

試乗記
IMPRESSION

コラム
COLUMN

特集
FEATURE

プレゼント
PRESENT

中古車検索
USED CARS

TOP > イベント > 「つながろう。みんなでCO2削減!!」第26回日本EVフェスティバルをお台場で開催

「つながろう。みんなでCO2削減!!」第26回日本EVフェスティバルをお台場で開催



AUTHOR
萩原 充

2020/12/22 15:00 | イベント・テクノロジー

Twitter Facebook B! G+ この記事をシェアする

今年は都市型イベントに



東京国際交流館には話題のホンダeや発表されたばかりの三菱エクリプス・クロスPHEV、日産リーフeプラス、ジャガーIペースを出演。

地球環境とエネルギー問題の解決方法のひとつとして、EV（電気自動車）などエコカーの普及活動を進める一般社団法人「日本EVクラブ」主催によるイベント、第26回「日本EVフェスティバル」が、2020年12月5日（土）に東京・お台場の東京国際交流館プラザ平成で開催

ドライバー増員するなら今がチャンス!!
転職するドライバー 激増
月給4万円～
ドライバー求人サイト **ドレバー**

安心の
BMW 360° SAFETY
詳しくはこちら▶

ブランド・車名でカンタン検索
中古車検索 Check▶

2020-2021
スタッドレスタイヤ
バイヤーズガイド

2020-2021
最新ホイール
バイヤーズガイド

DVR 最新!!
ドライブレコーダー
特集▶▶▶▶▶

大矢アキオのイタリアで
Cosi cosi でいこう! 現地の
最新情報を
お届け!
池ノ内ミドリ
のバイエルン日記
フレッシュ聞々

遠藤イヅルの
最新モデルを
徹底研究!
**ニューモデル
情報通**

遠藤イヅルの
知られざる
クルマ
こんなクルマ
知ってます?

デイリーランキング

1 **【国内試乗】「メルセデス・ベンツ Eクラス」すべてのボディタイプをアップデート**
2020.12.21

2 **ル・ボラン編集長の監修で、BMWの安全哲学と最新技術を解説【PR】**
2020.12.11

3 **エレガントで美しいフォルクスワーゲンのラグジュアリー**

された。



代表理事を務めるモータージャーナリストの館内端氏によれば、自動車と社会をめぐる時代の大きな変化に伴い、同フェスティバルも情報伝達効果の高い都市型にシフトすべきだと考え、これまでのテストコースやサーキットの会場から、今回は東京・お台場での初開催に至ったようだ。ただし開催の精神はこれまでと変わらず「自動車の楽しさの未来への継続」とそれを可能にする「ストップ気候変動」とのこと。



ーベ「メルセデス・ベンツE300クーペ」【河口まなぶ動画試乗インプレッション】

2020.12.20



【スクープ】新型「スバルBRZ」の大本命？ 高性能な「STI」モデル発売の可能性を探る！

2020.12.18



【プロトタイプ試乗】「トヨタ・ミライ」全方位的に進化したトヨタの意欲作！

2020.12.22



カーブランド検索 / CAR BRAND SEARCH

ブランドを選択

検索 🔍

モーター誌 最新号



ル・ボラン 2021年 1月号
2020年11月26日発売
定価 1,100円 (本体1,000円)

最新号の詳細はこちら

BMW

COMPLETE



東京国際交流館には話題のホンダeや発表されたばかりの三菱エクリプス・クロスPHEV、日産リーフeプラス、ジャガーIペースを出展。試乗会ではアウディeトロンやプジョーe-2008、BMW X3 30eといった最新の輸入モデルも体験できた。



朝10時から開催スタートした会場エントランスには、国内外メーカーのEVとプラグインHVモデルが展示されたほか、一般来場者向けの試乗会には各社の最新モデルが提供された。協賛社のボッシュエンジニアリングは同社開発の電動カートと技術パネルを展示をしたほか、ニチコンは可搬型給電器のV2H技術でコーヒーを提供。HW ELECTROは日本導入を予定する小型EVトラック「ELEMO」の電動システムを公開した。



【知られざるクルマ】 Vol.12 ドイツフォードの「タウヌ伝説」.....なんでもかんでも車名が「タウヌ」だったって、ほんと？ #carsmeetweb #カーズミートウェブ #フォード #タウヌ #ヨーロッパ #パフォーダ #ドイツフォード #連載 #遠藤イヅル @Ford

<https://carsmeet.jp/2020/12/23/151079-5-2/>



CARSMEET.JP



またクラブ会員が旧車や趣味車を電動化したコンバージョンEVの「EVセドリック」や「EVスーパーセブン」「EVジムニー」、電動レーシングカート（ERK）、横浜ゴムのEVコンセプトカー「AERO-Y」にも出展して来場者の注目を集めた。



国内外メーカーの最新EVとPHEVが一堂に会した試乗会では、数多くのモータージャーナリストは来場者がドライブする試乗車に同乗してモデル解説をサポート。



シンポジウムでは東京大学大気海洋研究所の木本昌秀教授がCO2濃度と排出量増による極端気候を解説。



館内代表と作曲家で音楽評論家の松任谷正隆氏はコロナ禍も含めた音楽イベントの新しい在り方や社会的影響について語った。



館内会場では東京都や神奈川県藤沢市、長野県白馬村といった環境問題に注力する自治体が情報発信。東京大学大気海洋研究所の木本昌秀教授を招いたシンポジウムをはじめ、環境省や経済産業省の自動車・環境担当者、自動車メーカーによるプレゼンテーションが行われ、気候変動がもたらす環境への影響とそれに対応する行政と自動車メーカーらの取り組みを発表した。作曲家の松任谷正隆氏と館内代表は、コロナ禍の話題を交えながら、気候変動・自動車・音楽をテーマにしたトークショーで会場を沸かせ、最後に「日本EVクラブ Stop気候変動宣言」を採択して幕となった。

TAG :

EVフェスティバル

PHEV

日本EVクラブ

電気自動車

あなたにオススメの記事



リアルスポーツよりもGTを好む層に最適な1台「BMW新型4シリーズM440i」試乗記



「フォルクスワーゲン・ポロ」が常時接続の新世代インフォテインメントシステムを搭載



カーボンの装飾をあこれつけると軽く100万円超えに！【吉田由美のスーパースポーツ驚愕オプション紹介】フェラーリF8トリブート編



【スクープ】「トヨタ・プレミオ」が14年ぶりフルモデルチェンジ！生き残りかけてクーペスタイルで若返り？



【プロトタイプ試乗】「トヨタ・ミライ」全方位的に進化したトヨタの意欲作！



【スクープ】遅咲きヒット作「トヨタ・シエンタ」の次期型情報をキャッチ！これが新型のエクステリア？



NSXカーシェア【最高出力581ps】



< アメリカ文化の中の「Z」の歴史をアメリ...

トヨタ・モビリティ基金が下肢麻痺者向...

【関連記事】

電動化が着々！「フォルクスワーゲン・アルテオン／アルテオン・シューティングブレーク」のプラグイン・ハイブリッドが欧州で発売開始

日本電動モビリティ推進協会が発足

氷上の電気レーシングカートの祭典で第1回自動車メディア対抗レースを開催



「ル・ボランCARSMEET」公式SNS
フォローして最新情報をゲット！

フォローする

892人のフォロワー

いいね！ 2,060

PRESENT



毎週木曜日更新！
CARSMEET web プレゼント
「アベモータース・タオル」

> プレゼントの詳細はコチラ



東京国際交流館には話題のホンダeや発表されたばかりの三菱エクリプス・クロスPHEV、日産リーフeプラス、ジャガーIペースを出展。試乗会ではアウディ e-tronやプジョー e-2008、BMW X3 30eといった最新の輸入モデルも体験できた。



協賛社のボッシュエンジニアリングは同社開発の電動カートと技術パネルを展示をしたほか、ニチコンはV2H技術でコーヒーを提供。HW ELECTROは日本導入を予定するEV商用車の電動システムを公開。



第26回日本EVフェスティバルをお台場で開催 テーマは「つながろう。みんなでCO2削減!!」

<http://evfestival.jevc.gr.jp/>

地 球環境とエネルギー問題の解決方法のひとつとして、EV（電気自動車）などエコカーの普及活動を進める一般社団法人「日本EVクラブ」主催によるイベント、第26回「日本EVフェスティバル」が、去る12月5日（土）に東京・お台場の東京国際交流館プラザ平成で開催された。

代表理事を務めるモータージャーナリストの館内瑞氏によれば、自動車と社会をめぐる時代の大きな変化に伴い、同フェスティバルも情報伝達効果の高い都市型にシフトすべきだと考え、これまでのテストコースやサーキットの会場から、今回は東京・お台場での初開催に至ったようだ。ただし開催の精神はこれまでと変わらず「自動車の楽しさの未来への継続」とそれを可能にする「ストップ気候変動」とのこと。

朝10時から開催スタートした会場エントランスには、国内外メーカーのEVとプラグインHVモデルが展示されたほか、一般来場者向けの試乗会には各社の最新モデルが提供された。またクラブ会員が旧車や趣味車を電動化したコンバージョンEV、電動レーシングカート（ERK）、横浜ゴムのEVコンセプトカー「AERO-Y」らも出展して来場者の注目を集めた。

館内では東京都や神奈川県藤沢市、長野県白馬村といった環境問題に注力する自治体が情報発信。東京大学大気海洋研究所の木本昌秀教授を招いたシンポジウムをはじめ、環境省や経済産業省の自動車・環境担当者、自動車メーカーによるプレゼンテーションが行なわれ、気候変動がもたらす環境への影響とそれに対応する行政と自動車メーカーらの取り組みを発表。作曲家の松任谷正隆氏と館内代表は、コロナ禍の話題を交えながら、気候変動・自動車・音楽をテーマにしたトークショーで会場を沸かせ、最後に「日本EVクラブ Stop気候変動宣言」を採択して幕となった。



▲国内外メーカーの最新EVとPHEVが一堂に会した試乗会では、数多くのモータージャーナリストが来場者のドライブする試乗車に同乗してモデル解説をサポート。

▼シンポジウムでは東京大学の木本教授（右）がCO2濃度と排出量増による極端気候を解説。館内代表と松任谷氏はコロナ禍も含めた社会的影響について語った。



横浜ゴムが社内プロジェクトで開発したコンセプトカーをはじめ、EVセドリックやEVスーパーセブン、EVジムニーといった同会員が製作したコンバートEVにも注目が集まった。



館内では東京都環境局や神奈川県藤沢市、長野県白馬村観光局から環境問題に注力する自治体がリーフレットなどで活動を報告。スタンプラリーや親子電動カート教室も行なわれた。

TOPIC